

道路構造物標準図集

藤沢市道路河川部

発行年月 平成27年 4月
一部改訂年月 平成28年 4月

使用上の注意事項

1.はじめに

- 1.この標準設計は、藤沢市が直轄工事として施行する土木工事の共通的な構造物の標準化と規格化を図り、もって、土木工事の設計、施工、積算等における業務の簡素化並びに構造物の精度の向上を図ることを目的とする。
- 2.この標準設計は、共通的な構造物の標準の設計方式及び設計条件にもとづき設計積算を行なったものであるので、特別な設計条件に係る構造物を除き適用する。なお、適用にあたっては、設計方式に充分留意して行なうべきものである。また、標準設計に定められた構造物に類似した構造物はできる限り、この標準設計に準じ設計を行なうものとする。
- 3.この標準設計によった場合は、当該工種の記号を設計図書等に記入するものとし、当該工種の図面は原則としてその都度設計書等に添付しなくてもよい。

2.注意事項

- 1.本標準設計の集録範囲、図面の使用に当たっての注意事項は後述してある図面中の注意事項を熟読し、使用を誤らないように注意されたい。
- 2.本標準設計は、必要最少限の寸法を決めているのであるから、制作の便のため受注者の負担において部材の厚さ、幅を増加させたり、補強材を設けたり、材質を変更したり等の必要に応じての変更は、構造物の耐荷力を低下させない限りさしつかえないが、いかなる場合でも発注者の承認を得なければならない。
- 3.本標準設計の図面寸法は、何もことわっていない場合はすべてmm単位である。
- 4.材料表の数量は、出来上がり数量である。
5. J I S 規格品以外の製品を使用する場合には、発注者の承認を得なければならない。

目次

【側溝類】

1. プレキャストL型側溝	* * * * *	1
2. 組合せL型側溝	* * * * *	5
3. プレキャスト組合せLU側溝	* * *	7
4. プレキャストU型側溝	* * * * *	8
5. 函きよ型側溝	* * * * *	12

【排水枡類】

6. 雨水枡	* * * * *	13
7. プレキャスト組合せLU側溝枡	* * * * *	14
8. 集水枡	* * * * *	16
9. 組合せ排水枡	* * * * *	17

【暗きよ類】

10. プレキャスト函きよ	* * * * *	18
---------------	-----------	----

【歩道類】

11. 地先境界、植樹ブロック	* * * * *	20
12. 平板ブロック、視覚障がい者誘導用	* * *	21

【交通安全類】

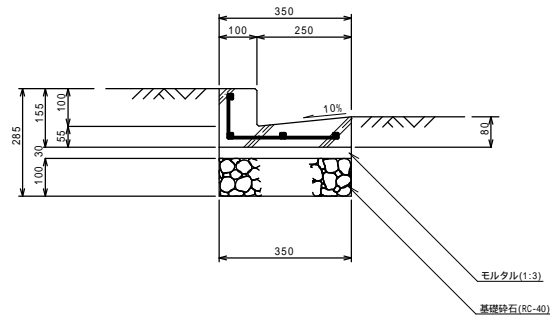
13. 照明灯、道路反射鏡	* * * * *	22
14. 案内標識、警戒標識、規制標識(基礎)	* *	26

【その他】

15. マンホール調整	* * * * *	27
-------------	-----------	----

プレキャストL型側溝 (PL1型) 構造図

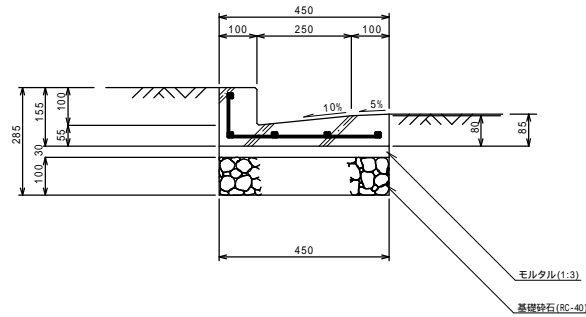
P L 1 型



材料表		1.0 m 当たり		
記号	名称	規格・寸法	数量	備考
PL1-B250A-H100	L型側溝	250A用	16.5 個	参考重量 44 kg/個
	基礎砕石工	RC-40 t=100mm	3.500 m ²	
	敷モルタル	1:3	0.105 m ³	

B 2 5 0 A : こう配 1 0 % 一定

P L 1 型



材料表		1.0 m 当たり		
記号	名称	規格・寸法	数量	備考
PL1-B250B-H100	L型側溝	250B用	16.5 個	参考重量 56 kg/個
	基礎砕石工	RC-40 t=100mm	4.500 m ²	
	敷モルタル	1:3	0.135 m ³	

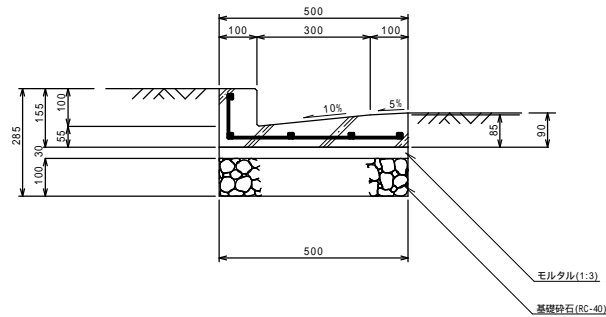
B 2 5 0 B : こう配 1 0 % および 5 %

注意事項

1. PL1型(プレキャスト鉄筋コンクリート)は、JIS A 5372を使用する。
2. 材料は10m当たりで計上してある。
3. 目地モルタルの数量は目地間隔を5mmとして計上した。
4. 路盤上に施工する場合は基礎材を省略してもよい。
5. 歩道あるいはそれと同等以下の場所に使用する。

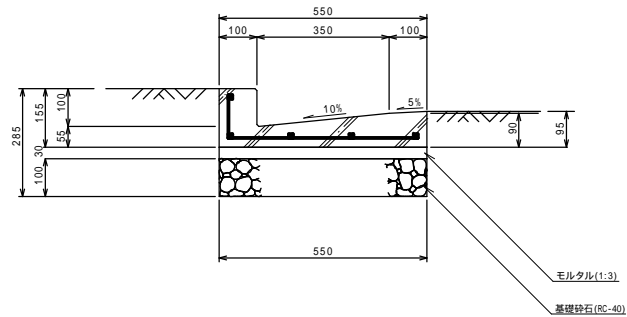
プレキャストL型側溝 (P L 1 型) 構造図

P L 1 型



材料表				1.0 m 当たり	
記号	名称	規格・寸法	数量	備考	
PL1-B300-H100	L型側溝	300用	16.5 個	参考重量 62 kg / 個	
	基礎砕石工	RC-40 t=100mm	5.000 m ²		
	敷モルタル	1:3	0.150 m ³		

P L 1 型



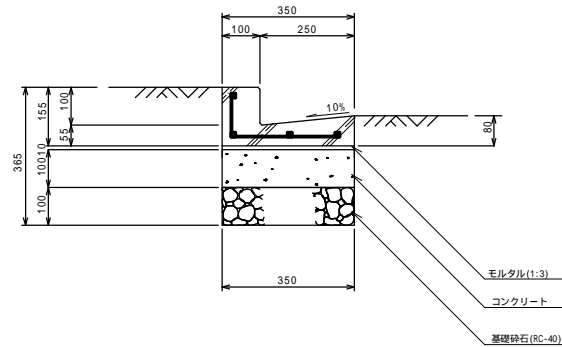
材料表				1.0 m 当たり	
記号	名称	規格・寸法	数量	備考	
PL1-B350-H100	L型側溝	350用	16.5 個	参考重量 69 kg / 個	
	基礎砕石工	RC-40 t=100mm	5.500 m ²		
	敷モルタル	1:3	0.165 m ³		

注意事項

1. PL1型 (プレキャスト鉄筋コンクリート) は、JIS A5372を使用する。
2. 材料は10m当たりで計上してある。
3. 目地モルタルの数量は目地間隔を5mmとして計上した。
4. 路盤上に施工する場合は基礎材を省略してもよい。
5. 歩道あるいはそれと同等以下の場所に使用する。

プレキャストL型側溝 (P L 2 型) 構造図

P L 2 型

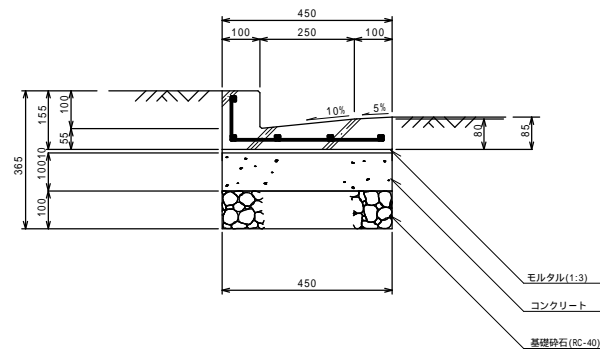


材料表 1.0m当たり

記号	名称	規格・寸法	数量	備考
PL2-B250A-H100	L型側溝	250A用	16.5 個	参考重量 44 kg / 個
	基礎砕石工	RC-40 t=100mm	3.500 m ²	
	型枠工	均し	2.000 m ²	
	コンクリート工	18-8	0.350 m ³	
	敷モルタル	1:3	0.035 m ³	

B 2 5 0 A : こう配 1 0 % 一定

P L 2 型



材料表 1.0m当たり

記号	名称	規格・寸法	数量	備考
PL2-B250B-H100	L型側溝	250B用	16.5 個	参考重量 56 kg / 個
	基礎砕石工	RC-40 t=100mm	4.500 m ²	
	型枠工	均し	2.000 m ²	
	コンクリート工	18-8	0.450 m ³	
	敷モルタル	1:3	0.045 m ³	

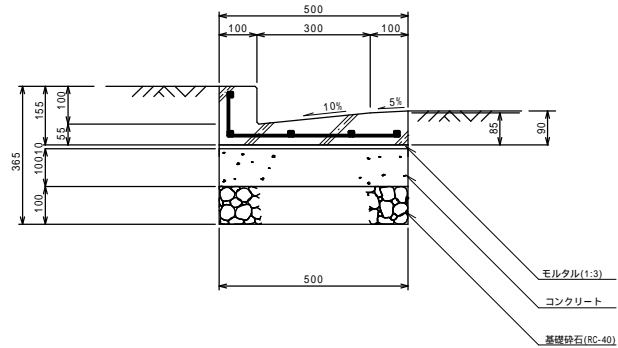
B 2 5 0 B : こう配 1 0 % および 5 %

注意事項

1. P L 2 型 (プレキャスト鉄筋コンクリート) は、J I S A 5 3 7 2 を使用する。
2. 材料は10m当たりで計上してある。
3. 目地モルタルの数量は目地間隔を5mmとして計上した。
4. 路盤上に施工する場合は基礎材を省略してもよい。
5. 軽車両 (乗用車または 2 t 以下のトラック) を考慮する場合に使用する。

プレキャストL型側溝 (P L 2 型) 構造図

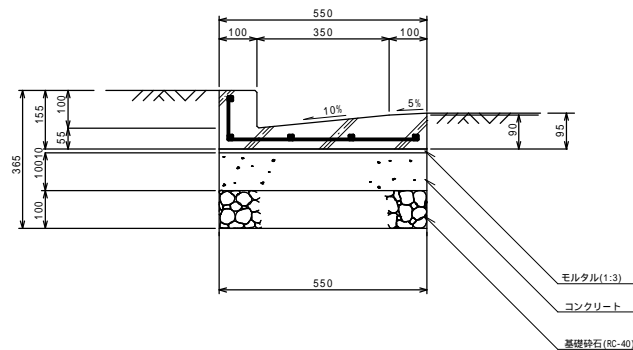
P L 2 型



材料表 1.0 m 当たり

記号	名称	規格・寸法	数量	備考
PL2-B300-H100	L型側溝	300用	16.5 個	参考重量 62 kg / 個
	基礎砂石工	RC-40 t=100mm	5.000 m ²	
	型枠工	均し	2.000 m ²	
	コンクリート工	18-8	0.500 m ³	
	敷モルタル	1:3	0.050 m ³	

P L 2 型



材料表 1.0 m 当たり

記号	名称	規格・寸法	数量	備考
PL2-B350-H100	L型側溝	350用	16.5 個	参考重量 69 kg / 個
	基礎砂石工	RC-40 t=100mm	5.500 m ²	
	型枠工	均し	2.000 m ²	
	コンクリート工	18-8	0.550 m ³	
	敷モルタル	1:3	0.055 m ³	

注意事項

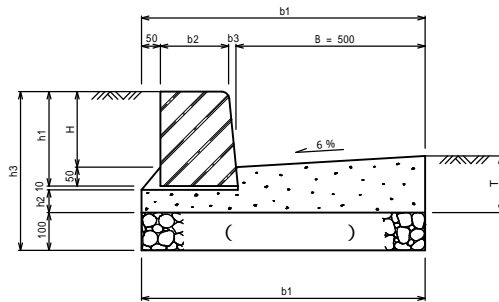
1. P L 2 型 (プレキャスト鉄筋コンクリート) は、J I S A 5 3 7 2 を使用する。
2. 材料は10m 当たりで計上してある。
3. 目地モルタルの数量は目地間隔を5mm として計上した。
4. 路盤上に施工する場合は基礎材を省略してもよい。
5. 軽車両 (乗用車または 2 t 以下のトラック) を考慮する場合に使用する。

組合せL型側溝構造図

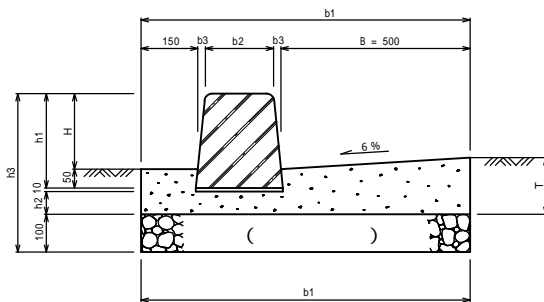
(PL 4 型・ PL 5 型)

設計基準強度 場所打コンクリート $ck = 18 \text{ N/mm}^2$

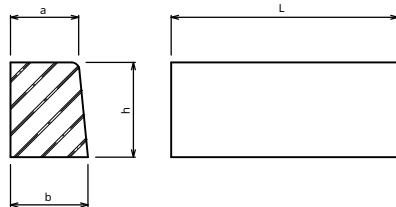
PL 4 型



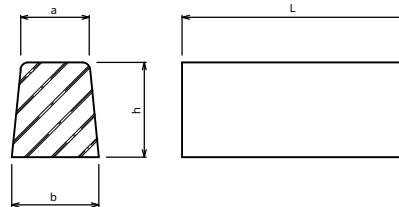
PL 5 型



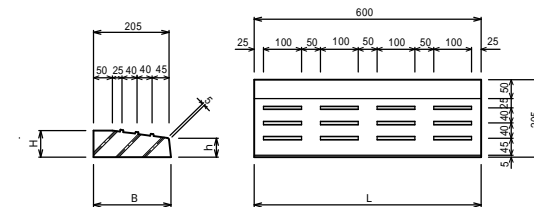
歩車道境界ブロック (片面 R)



歩車道境界ブロック (両面 R)



セーフティブロック



歩車道境界ブロック (J I S) 寸歩表

歩車道境界ブロック	寸法表 (単位mm)				1個当たり重量 (kg)	摘要
	a	b	h	L		
A 種	150	170	200	600	44	JIS A 5371
B 種	180	205	250	600	66	
C 種	180	210	300	600	80	

歩車道境界ブロック (両面 R) 寸歩表

歩車道境界ブロック	寸法表 (単位mm)				コンクリート体積 (m ³)	1個当たり重量 (kg)	摘要
	a	b	h	L			
A 種	150	190	200	600	0.0204	48	JIS A 5371
B 種	180	230	250	600	0.0308	71	
C 種	180	240	300	600	0.0378	85	

セーフティブロック寸歩表

セーフティブロック	寸法表 (単位mm)				1個当たり重量 (kg)	摘要
	B	H	h	L		
直ブロック	205	70	50	600	18	
Rブロック	1.5m - 8m				18	

PL 4 型 (組合せL型側溝: 歩道がマウンドアップの場合) 寸法及び材料表

記号	寸法表 (単位mm)									材料表 (10m当たり)					摘要	
	B	H	T	b1	b2	b3	h1	h2	h3	コクリト(m ³)	基礎材(m ³)	型 種 (m ³)	ブロック(個)	敷砂(m ³)		目地砂(m ³)
PL4-B500-H150-T150	500	150	150	715	150	15	200	60	370	0.802	7.150	2.100	A種 16.5	0.032	0.003	歩車道境界ブロック (JIS A 5371) 片面 R を使用
PL4-B500-H150-T200	500	150	200	715	150	15	200	110	420	1.160	7.150	3.100	A種 16.5	0.032	0.003	
PL4-B500-H150-T250	500	150	250	715	150	15	200	160	470	1.517	7.150	4.100	A種 16.5	0.032	0.003	
PL4-B500-H200-T150	500	200	150	750	180	20	250	60	420	0.823	7.500	2.100	B種 16.5	0.036	0.004	
PL4-B500-H200-T200	500	200	200	750	180	20	250	110	470	1.198	7.500	3.100	B種 16.5	0.036	0.004	
PL4-B500-H200-T250	500	200	250	750	180	20	250	160	520	1.573	7.500	4.100	B種 16.5	0.036	0.004	
PL4-B500-H250-T150	500	250	150	755	180	25	300	60	470	0.826	7.550	2.100	C種 16.5	0.036	0.005	
PL4-B500-H250-T200	500	250	200	755	180	25	300	110	520	1.204	7.550	3.100	C種 16.5	0.036	0.005	
PL4-B500-H250-T250	500	250	250	755	180	25	300	160	570	1.581	7.550	4.100	C種 16.5	0.036	0.005	

舗装計画交通量 (台/日・方向)	エプロン厚 (T)
100未満	150
100以上250未満	
250以上1000未満	
1000以上3000未満	200
3000以上	250

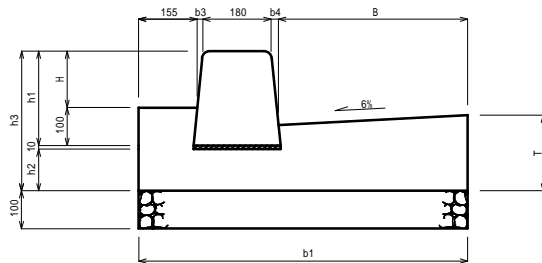
PL 5 型 (組合せL型側溝: 歩道がフラットの場合) 寸法及び材料表

記号	寸法表 (単位mm)									材料表 (10m当たり)					摘要	
	B	H	T	b1	b2	b3	h1	h2	h3	コクリト(m ³)	基礎材(m ³)	型 種 (m ³)	ブロック(個)	敷砂(m ³)		目地砂(m ³)
PL5-B500-H150-T150	500	150	150	830	150	15	200	60	370	0.961	8.300	2.700	A種 16.5	0.019	0.003	歩車道境界ブロック (JIS A 5371) 両面 R を使用
PL5-B500-H150-T200	500	150	200	830	150	15	200	110	420	1.376	8.300	3.700	A種 16.5	0.019	0.003	
PL5-B500-H150-T250	500	150	250	830	150	15	200	160	470	1.791	8.300	4.700	A種 16.5	0.019	0.003	
PL5-B500-H200-T150	500	200	150	870	180	20	250	60	420	0.984	8.700	2.700	B種 16.5	0.023	0.004	
PL5-B500-H200-T200	500	200	200	870	180	20	250	110	470	1.419	8.700	3.700	B種 16.5	0.023	0.004	
PL5-B500-H200-T250	500	200	250	870	180	20	250	160	520	1.854	8.700	4.700	B種 16.5	0.023	0.004	
PL5-B500-H250-T150	500	250	150	880	180	25	300	60	470	0.990	8.800	2.700	C種 16.5	0.024	0.005	
PL5-B500-H250-T200	500	250	200	880	180	25	300	110	520	1.430	8.800	3.700	C種 16.5	0.024	0.005	
PL5-B500-H250-T250	500	250	250	880	180	25	300	160	570	1.870	8.800	4.700	C種 16.5	0.024	0.005	

注意事項

- 歩車道境界ブロックについては JIS A 5371 を使用する。
- 基礎材の使用材料を図中 () 内に記入すること。
なお路盤上に施工する場合は、基礎材を省略してもよい。
- 材料は 10m 当たりで計上してある。
- 端部型枠面積を必要とする場合は、単位長さ当たりのコンクリート体積 (材料表内の数量の 1/10) の 2 倍 (両面のとき) を計上すればよい。
- 目地モルタルの数量は、目地間隔を 5mm として計上。
- コンクリート打設は、豆板等が生じないよう十分な締め固めを行うこと。
- 重量を計算する際の単位体積重量は、無筋コンクリートを 2350kg/m³ としている。
- 伸縮目地を集水樹間及び 10m 以内に設置する。
- セーフティブロックの使用範囲は、発注者と協議すること。
また、設置する際には 5mm の段差を設けること。
- 歩道 (歩行者導線) 切下げ部と路面の段差は 2cm、車両乗入部は段差 5cm を標準とする。
- 水抜きブロックは、集水樹間所に加えて、歩車道境界ブロック 10本に 1箇所設置することを標準とする。

組合せL形側溝（セミフラットタイプ）構造図



寸法表

記号	寸法表 (mm)									
	B	H	T	b1	b2	b3	b4	h1	h2	h3
PL2-8500-H150-T150	500	150	150	870	155	15	20	250	60	320
PL2-8500-H150-T200	500	150	200	870	155	15	20	250	110	370
PL2-8500-H150-T250	500	150	250	870	155	15	20	250	160	420

材料表

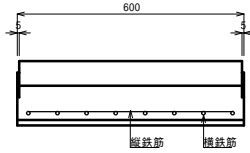
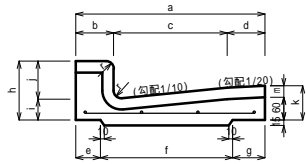
記号	材料表 (10m当たり)					摘要
	コンクリート(m ³)	基礎材(m ³)	型わく(m ²)	アブリ(個)	敷砂(m ³)	
PL2-8500-H150-T150	1.059	0.870	3.200	18.500	0.023	0.004
PL2-8500-H150-T200	1.495	0.870	4.200	18.500	0.023	0.004
PL2-8500-H150-T250	1.930	0.870	5.200	18.500	0.023	0.004

舗装計画交通量 (台/日・方向)	エプロン厚(T)
100未満	150
100以上250未満	
250以上1,000未満	200
1,000以上3,000未満	
3,000以上	250

注意事項

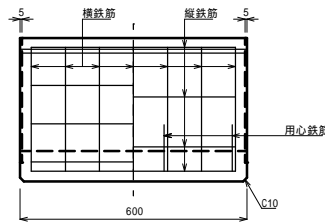
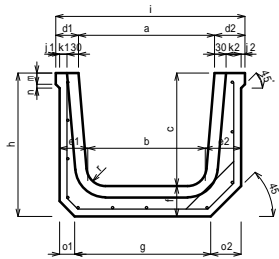
1. 歩車道境界ブロックはJIS A5371を使用する。
2. 基礎材は再生クワックワを標準とする。なお路盤上に施工する場合は基礎材を省略しても良い。
3. 材料は10m当たりで計上してある。
4. 目地モルタルの数量は目地間隔を5mmとして計上した。
5. コンクリート打設は豆板等が生じないよう十分な締め固めを行うこと。

プレキャスト組合せL U側溝構造図



L形寸法表

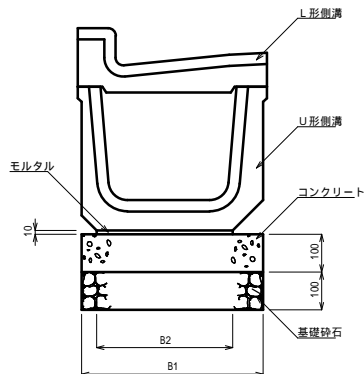
呼び名	タイプ	形状寸法														参考重量 (kg)
		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	m	r		
T-14	標準	350	100	250	-	50	230	70	155	100	80	30	20	51		
	切下げ	350	100	250	-	50	230	70	105	55	50	80	30	44		
	標準	420	100	320	-	55	290	75	155	100	85	30	20	61		
	切下げ	420	100	320	-	55	290	75	105	55	50	85	30	54		
T-20	標準	500	100	300	100	65	350	85	155	100	90	30	20	77		
	切下げ	500	100	300	100	65	350	85	105	55	50	90	30	70		
	標準	350	100	250	-	50	230	70	195	95	100	120	-	71		
	切下げ	350	100	250	-	50	230	70	145	50	50	120	-	64		
T-20	標準	420	100	320	-	55	290	75	195	95	100	125	30	20	85	
	切下げ	420	100	320	-	55	290	75	145	50	50	125	30	20	78	
	標準	500	100	300	100	65	350	85	200	100	100	135	30	20	116	
	切下げ	500	100	300	100	65	350	85	150	50	50	135	30	20	109	



U形寸法表

呼び名	形状寸法																	参考重量 (kg)			
	a	b	c	d1	d2	e1	e2	f	g	h	i	j1	j2	k1	k2	m	n		o1	o2	r
240	240	220	240	45	65	55	65	60	260	300	350	-	10	15	25	30	10	40	40	50	67
300	300	260	300	50	70	70	80	70	330	370	420	-	10	20	30	30	10	40	40	50	96
360	360	310	300	60	80	75	95	80	360	380	500	10	10	20	40	30	10	40	80	50	116

(注) U形側溝は、T-14、T-20とも兼用型である。



L U側溝数量表

名称	規格	単位	数量 (10m当り)			備考
			240用	300用	360用	
L形側溝		個	16.500	16.500	16.500	
U形側溝		個	16.500	16.500	16.500	
基礎砕石工	RC-40 / t=100mm	m ³	3.400	4.100	4.800	
型枠工	均し	m ²	2.000	2.000	2.000	
コンクリート工	BB18-8	m ³	0.340	0.410	0.480	
モルタル	1:3	m ³	0.260	0.330	0.360	
記号			PLU-B240-H240	PLU-B300-H300	PLU-B360-H300	

注意事項

1. 基礎材は再生クワツヤ シを標準とする。なお路盤上に施工する場合は基礎材を省略しても良い。
2. 材料は10m当たりで計上してある。
3. 目地モルタルの数量は目地間隔を5mmとして計上した。
4. コンクリート打設は豆板等が生じないよう十分な締め固めを行うこと。

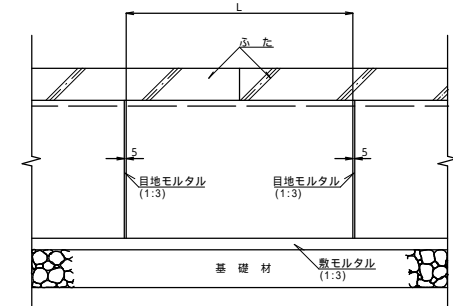
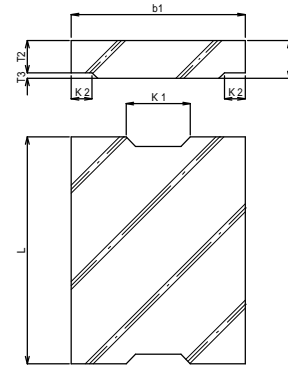
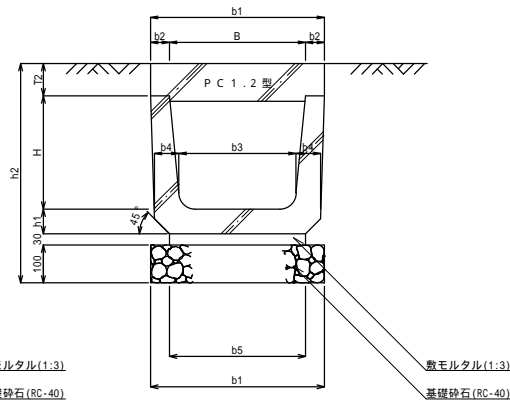
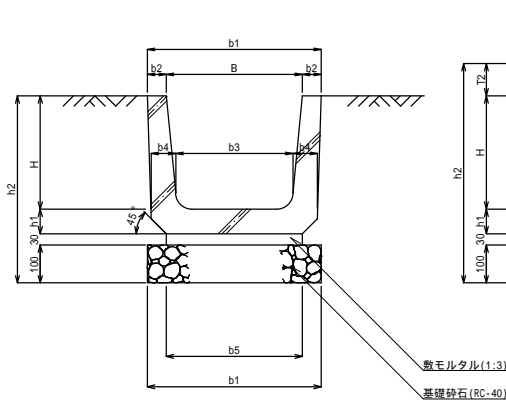
プレキャストU型側溝構造図(P U 1 型、 P U 2 型)

設計基準強度 基礎コンクリート ck = 18 N/mm²

PU 1 型 (ふたなしの場合)

PU 2 型 (ふた付きの場合)

PC 1 型および PC 2 型



PU 1 型 (プレキャスト鉄筋コンクリートU型側溝：ふたなし) 寸法および材料表

記 号	寸 法 表 (単位mm)										材 料 表 (10m当たり)				備 考	
	B	H	寸 法					h1	h2	L	基礎材 (m ²)	モルタル (m ³)		側溝 (個)		側溝ふた (枚)
			b1	b2	b3	b4	b5					敷モルタル	目地モルタル			
PU1-B240-H240	240	240	330	45	220	50	240	50	420	600	3.300	0.072	0.003	16.5	53	JIS A 5372
PU1-B300-H240	300	240	400	50	260	60	300	60	430	600	4.000	0.090	0.004	16.5	68	
PU1-B300-H300	300	300	400	50	260	60	300	60	490	600	4.000	0.090	0.005	16.5	77	
PU1-B300-H360	300	360	400	50	260	60	300	65	555	600	4.000	0.090	0.006	16.5	89	
PU1-B360-H300	360	300	460	50	310	65	360	65	495	600	4.600	0.108	0.005	16.5	87	
PU1-B360-H360	360	360	460	50	310	65	360	65	555	600	4.600	0.108	0.006	16.5	97	
PU1-B450-H450	450	450	560	55	400	70	430	70	650	600	5.600	0.129	0.008	16.5	130	
PU1-B600-H600	600	600	740	70	540	80	600	80	810	600	7.400	0.180	0.012	16.5	204	

PU 2 型 (プレキャスト鉄筋コンクリートU型側溝：ふた付き) 寸法および材料表

記 号	寸 法 表 (単位mm)										材 料 表 (10m当たり)				備 考	
	B	H	寸 法					h1	h2	L	基礎材 (m ²)	モルタル (m ³)		側溝 (個)		側溝ふた (枚)
			b1	b2	b3	b4	b5					敷モルタル	目地モルタル			
PU2-B240-H240	240	240	330	45	220	50	240	50	505	600	3.300	0.072	0.003	16.5	16.6()	JIS A 5372
PU2-B300-H240	300	240	400	50	260	60	300	60	515	600	4.000	0.090	0.004	16.5	16.6()	
PU2-B300-H300	300	300	400	50	260	60	300	60	575	600	4.000	0.090	0.005	16.5	16.6()	
PU2-B300-H360	300	360	400	50	260	65	300	65	640	600	4.000	0.090	0.006	16.5	16.6()	
PU2-B360-H300	360	300	460	50	310	65	360	65	580	600	4.600	0.108	0.005	16.5	16.6()	
PU2-B360-H360	360	360	460	50	310	65	360	65	640	600	4.600	0.108	0.006	16.5	16.6()	
PU2-B450-H450	450	450	560	55	400	70	430	70	750	600	5.600	0.129	0.008	16.5	16.6()	
PU2-B600-H600	600	600	740	70	540	80	600	80	940	600	7.400	0.180	0.012	16.5	16.6()	

PC 2 型 (プレキャスト鉄筋コンクリートU型側溝ふた) 寸法表

記 号	寸 法 表 (単位mm) 1枚当たり							備 考	
	b1	K1	K2	T1	T2	T3	L		
PC2-B240	330	90	50	100	85	15	600	43	JIS A 5372 2種
PC2-B300	400	100	55	100	85	15	600	53	
PC2-B360	460	120	55	100	85	15	600	61	
PC2-B450	560	120	60	120	100	20	600	89	
PC2-B600	740	150	75	150	130	20	600	150	

PC 1 型 (プレキャスト鉄筋コンクリートU型側溝ふた) 寸法表

記 号	寸 法 表 (単位mm)							1枚当たり重量 (kg)	備 考
	b1	K1	K2	T1	T2	T3	L		
PC1-B240	330	90	50	45	40	5	600	19	JIS A 5372 1種
PC1-B300	400	100	55	60	50	10	600	31	
PC1-B360	460	120	55	65	55	10	600	39	
PC1-B450	560	120	60	70	60	10	600	52	
PC1-B500	740	150	75	75	65	10	600	75	

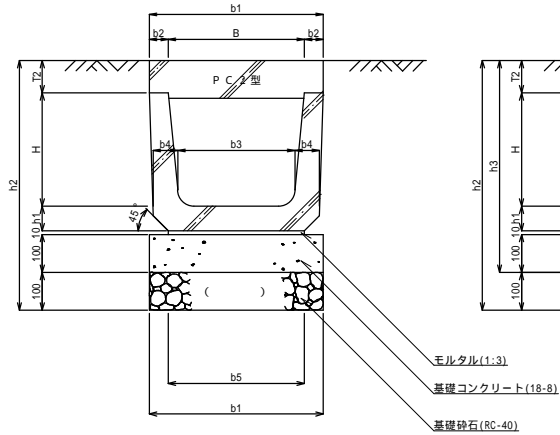
注意事項

- 鉄筋コンクリートU型側溝はJIS A5372を使用する。
- 鉄筋コンクリートU型側溝ふたはJIS A5372を使用する。
- 側溝ふたPC 2型 (JIS A5372 1種) は主として歩道に設置するもの、PC 2型(同2種) は車両(後輪一輪32kN以下)が隣接して走行することはまれで、走行することがあっても一時退避などで低速で走行するような場所に、車道に平行して設置するものとする。
- ふた付きの場合、図中のh2はふたの種類によって値が異なるので適用に当たって記入すること。(h2 = H + h1 + T2 + T3)
- JIS規格品以外の製品を使用する場合には、発注者の承認を得なければならない。
- ふた付の場合、材料表内側溝ふたの欄()内に適用するふたの型を明示すること。
- 基礎材は再生がつかうを標準とする。なお路面上に施工する場合は基礎材を省略しても良い。
- 交通荷重の激しい路側または、重車両の考えられる路側には使用しないこと。
- 材料は10m当たりで計上してある。
- 目地モルタルの数量は目地間隔を5mmとして計上した。
- 歩道あるいはこれと同等以下の場所に使用する場合。

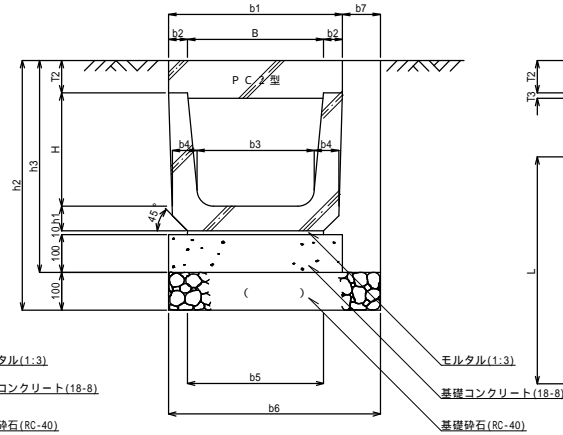
プレキャストU型側溝構造図(P U 3 型、 P U 4 型)

設計基準強度 基礎コンクリート $ck = 18 \text{ N/mm}^2$

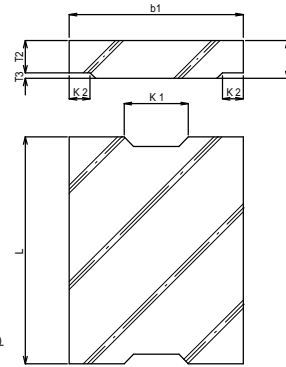
P U 3 型 (ふた付きの場合)



P U 4 型 (舗装止ふた付きの場合)



P C 2 型



P C 2 型 (プレキャスト鉄筋コンクリートU型側溝ふた) 寸法表

記号	寸法表 (単位mm)						1枚当たり重量(kg)	摘要
	b1	K1	K2	T1	T2	T3		
PC2-B240	330	90	50	100	85	15	600	JIS A 5372 2種
PC2-B300	400	100	55	100	85	15	600	
PC2-B360	460	120	55	100	85	15	600	
PC2-B450	560	120	60	120	100	20	600	
PC2-B600	740	150	75	150	130	20	600	

P U 3 型 (プレキャスト鉄筋コンクリートU型側溝：ふた付き) 寸法および材料表

記号	寸法表 (単位mm)								材料表 (10m当たり)				摘要					
	B	H	b1	b2	b3	b4	b5	L	コンクリート(m³)		モルタル(m³)			型枠(m²)	側溝(個)	側溝ふた(枚)		
									基礎材	モルタル	敷モルタル	目地モルタル						
PU3-B240-H240	240	240	330	45	220	50	240	50	585	600	0.330	3.300	0.024	0.003	2.0	16.5	16.6()	JIS A 5372 ふたの寸法についてはP C 2型を使用。
PU3-B300-H240	300	240	400	50	260	60	300	60	595	600	0.400	4.000	0.030	0.004	2.0	16.5	16.6()	
PU3-B300-H300	300	300	400	50	260	60	300	60	655	600	0.400	4.000	0.030	0.005	2.0	16.5	16.6()	
PU3-B300-H360	300	360	400	50	260	60	300	65	720	600	0.400	4.000	0.030	0.006	2.0	16.5	16.6()	
PU3-B360-H300	360	300	460	50	310	65	360	65	860	600	0.460	4.600	0.036	0.005	2.0	16.5	16.6()	
PU3-B360-H360	360	360	460	50	310	65	360	65	720	600	0.460	4.600	0.036	0.006	2.0	16.5	16.6()	
PU3-B450-H450	450	450	560	55	400	70	430	70	830	600	0.560	5.600	0.043	0.008	2.0	16.5	16.6()	
PU3-B600-H600	600	600	740	70	540	80	600	80	1020	600	0.740	7.400	0.060	0.012	2.0	16.5	16.6()	

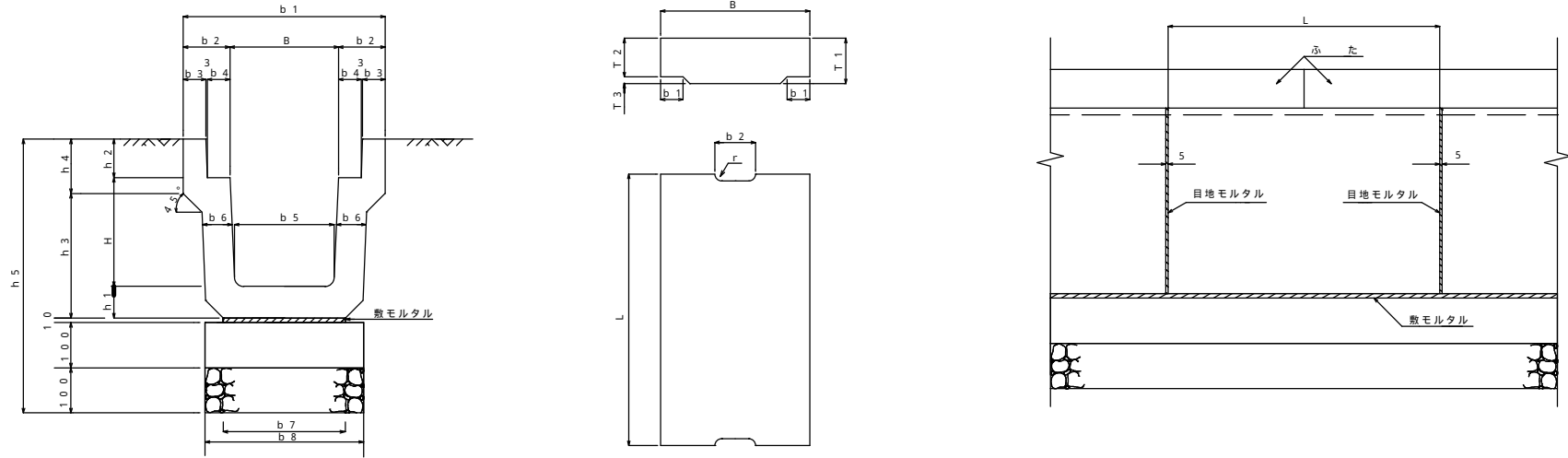
P U 4 型 (プレキャスト鉄筋コンクリートU型側溝：舗装止ふた付き) 寸法および材料表

記号	寸法表 (単位mm)											材料表 (10m当たり)						摘要					
	B	H	b1	b2	b3	b4	b5	b6		h1	h2	h3	L	基礎材(m²)		コンクリート(m³)			型枠(m²)	モルタル(m³)		側溝(個)	側溝ふた(枚)
								b7(10cm)	b7(15cm)					b7(10cm)	b7(15cm)	敷モルタル	目地モルタル						
PU4-B240-H240	240	240	330	45	220	50	240	430	480	50	585	485	600	4.300	4.800	0.837	1.080	6.85	0.024	0.003	16.5	16.6()	JIS A 5372 ふたの寸法についてはP C 2型を使用。
PU4-B300-H240	300	240	400	50	260	60	300	500	550	60	595	495	600	5.000	5.500	0.925	1.173	6.95	0.030	0.004	16.5	16.6()	
PU4-B300-H300	300	300	400	50	260	60	300	500	550	60	655	555	600	5.000	5.500	0.988	1.266	7.55	0.030	0.005	16.5	16.6()	
PU4-B300-H360	300	360	400	50	260	65	300	500	550	65	720	620	600	5.000	5.500	1.048	1.358	8.20	0.030	0.006	16.5	16.6()	
PU4-B360-H300	360	300	460	50	310	65	360	560	610	65	660	560	600	5.600	6.100	1.054	1.334	7.60	0.036	0.005	16.5	16.6()	
PU4-B360-H360	360	360	460	50	310	65	360	560	610	65	720	620	600	5.600	6.100	1.117	1.427	8.20	0.036	0.006	16.5	16.6()	
PU4-B450-H450	450	450	560	55	400	70	430	660	710	70	830	730	600	6.600	7.100	1.342	1.707	9.30	0.043	0.008	16.5	16.6()	
PU4-B600-H600	600	600	740	70	540	80	600	840	890	80	1020	920	600	8.400	8.900	1.753	2.213	11.20	0.060	0.012	16.5	16.6()	

注意事項

1. 鉄筋コンクリートU型側溝はJIS A5372を使用する。
2. 鉄筋コンクリートU型側溝ふたはJIS A5372を使用する。
3. 材料表内側溝ふたの欄()内に適用するふたの型を明示すること。
4. 基礎材は再生パッカーンを標準とする。なお路面上に施工する場合は基礎材を省略しても良い。
5. JIS規格品以外の製品を使用する場合には、発注者の承認を得なければならない。
6. 材料は10m当たりで計上してある。
7. 目地モルタルの数量は目地間隔を5mmとして計上した。
8. 一般車両(T-20相当)を考慮する場合はb7(15cm)を標準とする。

落蓋式鉄筋U形コンクリート側溝構造図



落蓋式鉄筋コンクリートU形側溝 寸法および材料表

記号	寸法表 (単位mm)															材料表 (10m当たり)						摘要
	B	H	b1	b2	b3	b4	b5	b6	b7	b8	h1	h2	h3	h4	h5	L	コンクリート(m ³)	基礎材(m ²)	敷モルタル(m ²)	目地モルタル(m ²)	型枠(m ²)	
B240-H240	240	240	446	103	50	50	220	65	270	350	70	85	275	120	605	600	0.35	3.50	0.027	0.005	2.00	16.7
B300-H300	300	300	520	110	52	55	260	75	330	410	80	85	345	120	675	600	0.41	4.10	0.033	0.007	2.00	16.7
B360-H360	360	360	596	118	60	55	310	75	380	460	90	85	415	120	745	600	0.46	4.60	0.038	0.009	2.00	16.7

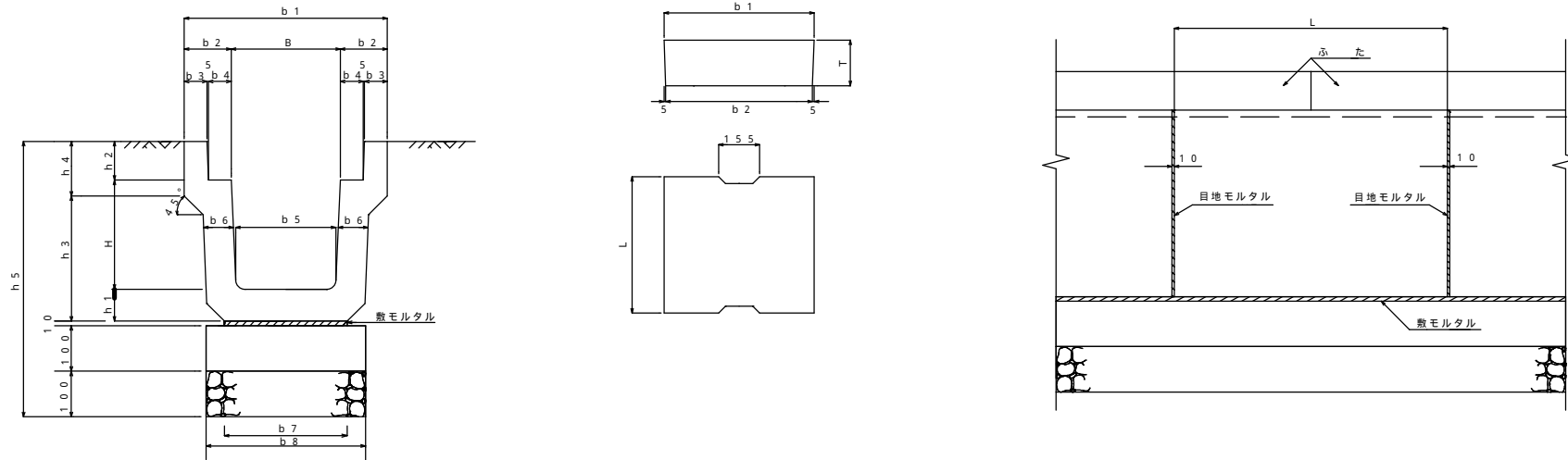
鉄筋コンクリートU形用ふた 寸法表

記号	寸法表 (単位 mm)									通要
	B	b1	b2	T1	T2	T3	r	L	1枚当たり重量(kg)	
240	330	50	90	100	85	15	15	600	45	
300	400	55	100	100	85	15	15	600	55	
360	460	55	120	100	85	15	18	600	64	

注意事項

1. 基礎材は再生クワックラックを標準とする。なお路盤上に施工する場合は基礎材を省略しても良い。
2. 材料は10m当たりで計上してある。
3. 目地モルタルの数量は目地間隔を5mmとして計上した。
4. JIS規格品以外の製品を使用する場合は、発注者の承認を得なければならない。
5. 鉄筋コンクリートU型側溝 L = 2000 の規格については、同様の仕様として対応できることとする。

落ちふた式U型側溝構造図



落ちふた式U型側溝 寸法および材料表

記号	寸法表 (単位mm)															1個当たり重量(kg)	材料表 (10m当たり)					摘要		
	B	H	b1	b2	b3	b4	b5	b6	b7	b8	h1	h2	h3	h4	h5		L	コンクリート(m ²)	基礎材(m ²)	敷モルタル(m ²)	目地モルタル(m ²)		型枠(m ²)	側溝(本数)
B250・H250	250	250	460	105	45	55	230	65	280	360	65	90	285	120	615	2000	333	0.36	3.60	0.028	0.001	20.12	5.0	JISA5372
B300・H300	300	300	520	110	50	55	280	70	340	420	70	95	325	140	675	2000	419	0.42	4.20	0.034	0.001	20.86	5.0	
B300・H400	300	400	520	110	50	55	270	70	330	410	70	95	425	140	775	2000	472	0.41	4.10	0.033	0.002	24.95	5.0	
B300・H500	300	500	520	110	50	55	260	80	340	420	80	95	535	140	885	2000	585	0.42	4.20	0.034	0.002	29.15	5.0	
B400・H400	400	400	630	115	55	55	370	70	430	510	70	110	440	140	790	2000	505	0.51	5.10	0.043	0.002	26.59	5.0	
B400・H500	400	500	630	115	55	55	360	80	440	520	80	110	550	140	900	2000	634	0.52	5.20	0.044	0.002	30.79	5.0	
B500・H500	500	500	750	125	60	60	460	80	540	620	80	125	550	155	915	2000	685	0.62	6.20	0.054	0.002	32.43	5.0	
B500・H600	500	600	750	125	60	60	450	90	550	630	90	125	640	175	1025	2000	835	0.63	6.30	0.055	0.003	36.63	5.0	

落ちふた式U型側溝(ふた) 寸法表

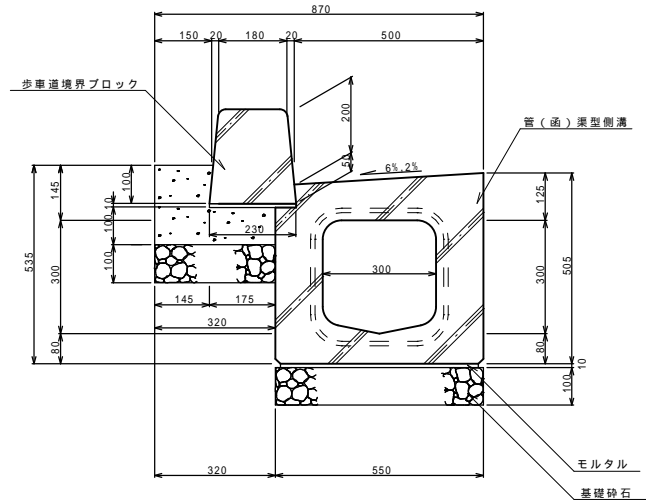
記号	寸法表 (単位mm)					摘要
	b1	b2	T	L	1枚当たり重量(kg)	
250	362	352	90	500	37	JISA5372
300	412	402	95	500	45	
400	512	502	110	500	65	
500	622	612	125	500	91	

注意事項

1. 鉄筋コンクリートU型側溝、U型側溝ふたはJISA5372を使用する。
2. 基礎材は再生カッターラを標準とする。なお路盤上に施工する場合は基礎材を省略しても良い。
3. 材料は10m当たりで計上してある。
4. 目地モルタルの数量は目地間隔を5mmとして計上した。
5. JIS規格品以外の製品を使用する場合は、発注者の承認を得なければならない。

函きよ型側溝構造図（参考図）

管（函）渠型側溝（KS-300）



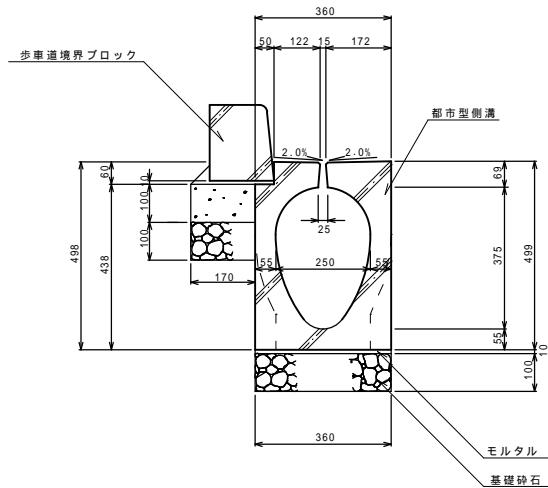
注意事項

1. JIS規格品以外の使用する場合には、発注者の承認を得なければならない。
2. 基礎材は再生クラックレフト（RC-40）を標準とする。
3. 場所打コンクリートの設計基準強度は $f_{ck}=18N/mm^2$ とする。
4. モルタルの標準配合は（1：3）とする。
5. 材料は10m当りで計上してある。
6. 無筋コンクリート単位体積重量は $2,350kg/m^3$ とする。

管（函）渠型側溝材料表

記号	材料表 (10.0m当り)						
	基礎材	型枠	コンクリート	函渠型側溝ブロック	歩車道境界ブロック	目地	敷
	(m^2)	(m^2)	(m^3)	(個)	(個)	(m^2)	(m^2)
KS-300	8.7	2.1	0.48		16.5		0.075

都市型側溝（TS-300）

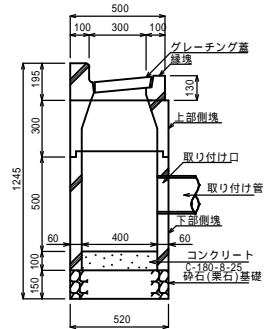


都市型側溝材料表

記号	材料表 (10.0m当り)						
	基礎材	型枠	コンクリート	都市型側溝ブロック	歩車道境界ブロック	目地	敷
	(m^2)	(m^2)	(m^3)	(個)	(個)	(m^2)	(m^2)
TS-250	5.3	1.0	0.17		16.5		0.066

雨水桝（藤沢市B型）構造図

UM1型（藤沢市B型）

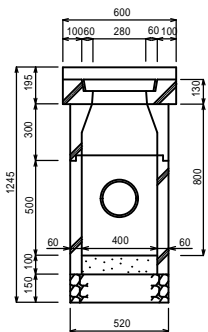
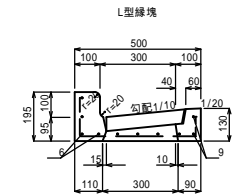
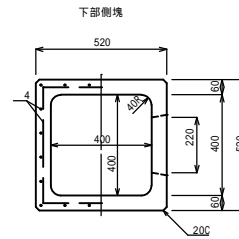
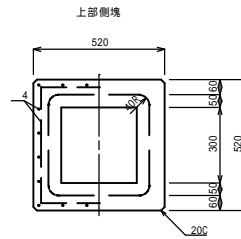


底部に150mm以上の泥だめを設けること。

UM1型（雨水桝：ふた付き）寸法および材料表

記号	寸法表 (単位mm)				材料表 (1箇所あたり)		
	H	b1	b2	h1	h2	コンクリート(m³)	基礎材(m²)
UM1-B300-L600-H800	800	500	520	130	195	0.016	0.270

設計強度 ck = 18N/mm²



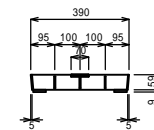
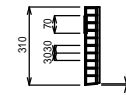
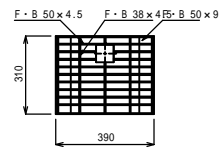
B型（300用）材料表

名称	寸法 (mm)	参考重量 (kg)
L型縁塊	195/130 × 500 × 600	60
上部側塊	400 × 400 × 300	93
下部側塊	400 × 400 × 600	159

雨水桝(藤沢市B型・浸透不可地域用)数量表 1基当たり

工種・名称	計算式・条件等	数量	単位
コンクリート	0.40 × 0.40 × 0.10	0.016	m³
砕石基礎	0.52 × 0.52, t=15cm	0.270	m²

藤沢市型雨水桝（B型用）グレーチング（テーパー付）



仕様

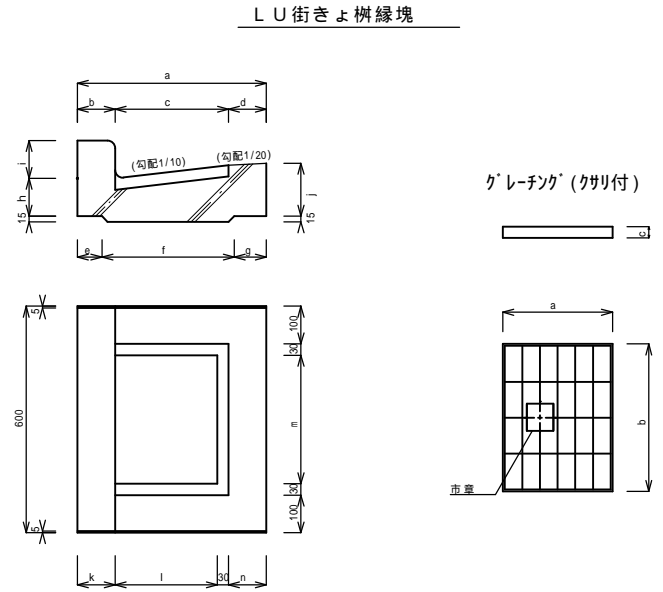
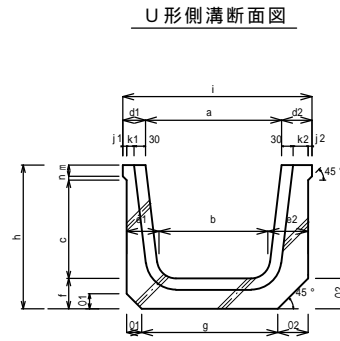
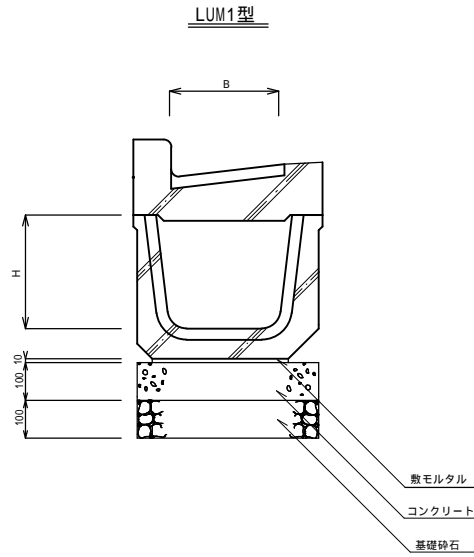
- 鉄筋コンクリート縁塊は藤沢市L型縁塊規格品
- 盗難防止用クサリは4 × 400mmユニクロメッキ付

注意事項

- ふたは原則としてグレーチングとする（くさり付）
- 基礎材の使用材料を図中（ ）内に明記すること
- 浸透不可地域以外は「藤沢市下水道設計標準図」を参照すること

LU形側溝・LU柵縁塊構造図

設計基準強度 基礎コンクリート ck = 18 N/mm²



LUM1型 U形側溝

呼び名	形状寸法(mm)																		参考重量 (kg)		
	a	b	c	d1	d2	e1	e2	f	g	h	i	j1	j2	k1	k2	m	n	01		02	r
240	240	220	240	45	65	55	65	60	260	300	350	-	10	15	25	30	10	40	40	50	67
300	300	260	300	50	70	70	80	70	330	370	420	-	10	20	30	30	10	40	40	50	96
360	360	310	300	60	80	75	95	80	360	380	500	10	10	20	40	30	10	40	80	50	116
500	500	420	400	75	105	95	125	90	540	490	680	20	20	25	55	35	20	50	50	50	192

LUM1型 L形縁塊寸法表(240・300・360)

呼び名	形状寸法(mm)														参考重量 (kg)		
	a	b	b1	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m		n	
T - 14	240	350	100	-	250	-	50	230	70	55	100	80	100	170	340	50	39
	300	420	100	-	320	-	55	290	75	55	100	85	100	230	340	60	43
	360	500	100	-	300	100	65	350	85	55	100	90	100	270	340	100	46
T - 20	240	350	100	-	250	-	50	230	70	95	100	120	100	170	340	50	52
	300	420	100	-	320	-	55	290	75	95	100	125	100	230	340	60	59
	360	500	100	-	300	100	65	350	85	100	100	135	100	270	340	100	73

LUM1型(グレーチング組み合わせLU型側溝柵:ふた付き)材料表

記号	材料表(10箇所当たり)					摘要
	コンクリート(m ³)	基礎材(m ²)	型枠(m ²)	目地モルタル(m ³)	敷モルタル(m ³)	
LUM1 - B240-H240-L600	0.204	2.040	1.200	0.001	0.016	
LUM1 - B300-H300-L600	0.246	2.460	1.200	0.001	0.020	
LUM1 - B360-H300-L600	0.288	2.880	1.200	0.001	0.022	
LUM1 - B500-H400-L600	0.384	3.840	1.200	0.001	0.038	

グレーチングふた寸法表

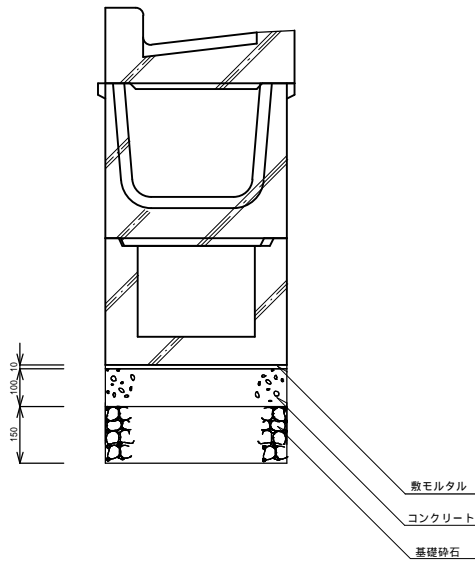
呼び名	形状寸法(mm)			参考重量 (kg)	
	a	b	c		
T - 14	240	190	390	32	4.1
	300	250	390	32	4.4
	360	290	390	32	5.8
T - 20	240	190	390	50	6.5
	300	250	390	50	7.0
	360	290	390	50	9.2

- 注意事項
- 基礎材は再生クワック(RC-40)を標準とする。
なお路盤上に施工する場合は基礎材を省略してもよい。
 - 材料は10箇所当たりで計上してある。
 - 目地モルタルの数量は目地間隔を5mmとして計上した。
 - JIS規格品以外の製品を使用する場合は、発注者の承認を得なければならない。
 - モルタルの標準配合は(1:3)とする。

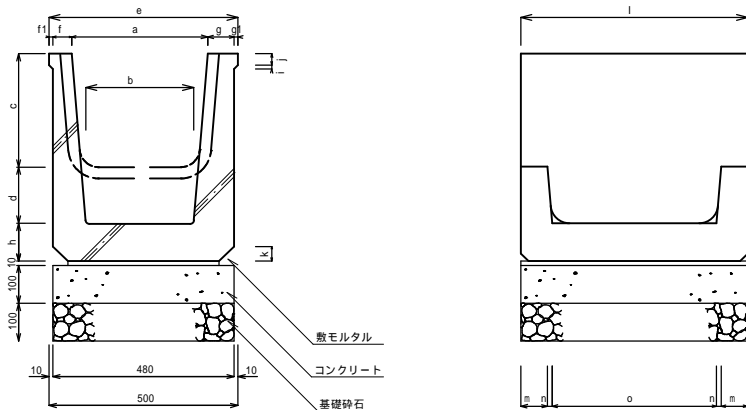
L U街きょ集水桝用上・下側塊構造図

設計基準強度 基礎コンクリート ck = 18 N/m²

LUS1型



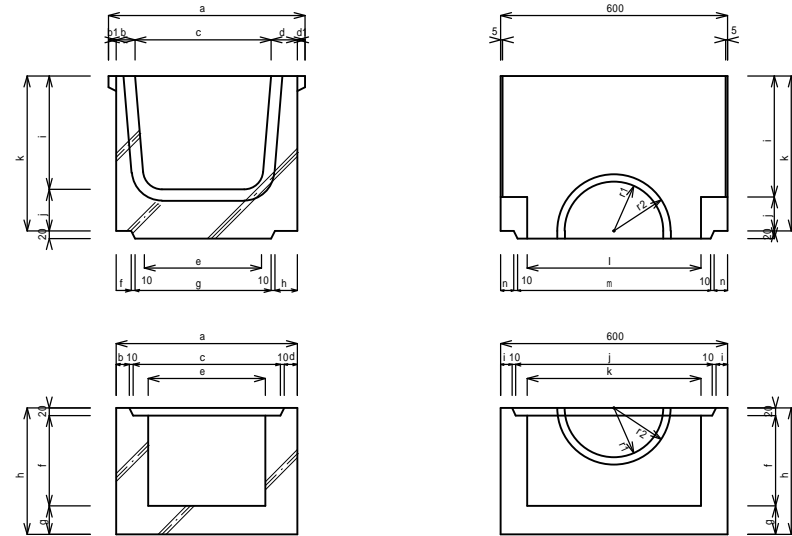
L U型街きょ泥溜め桝(参考図)



L U型街きょ泥溜め桝

呼び名	形状寸法 (mm)															参考重量 (kg)		
	a	b	c	d	e	f	f1	g	g1	h	i	j	k	l	m		n	o
240	240	208	240	150	350	45	-	55	10	100	10	30	20	600	70	6	6	126
300	300	240	300	150	420	50	-	60	10	100	10	30	20	600	70	10	10	163
360	360	285	300	150	500	50	10	70	10	100	10	30	20	600	70	12.5	12.5	188
500	500	390	400	150	680	55	20	85	20	100	20	35	20	600	70	15	15	269

L U型街きょ集水桝上下側塊



LUS1型 上部側塊寸法表

呼び名	形状寸法 (mm)																	参考重量 (kg)	
	a	b	b1	c	d	d1	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	r1		r2
240	350	45	-	240	55	10	220	35	245	40	240	60	300	460	510	35	100	125	54
300	420	50	-	300	60	10	260	35	315	40	300	70	370	460	510	35	100	125	79
360	480	50	-	360	70	-	310	40	360	60	300	110	410	460	510	35	130	150	105
500	680	55	20	500	85	20	420	55	480	85	400	130	530	400	520	30	130	150	169

LUS1型 下部側塊寸法表

呼び名	形状寸法 (mm)													参考重量 (kg)	
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	r1	r2		
240	340	30	250	40	220	265	70	355	30	520	460	100	125	102	
300	410	50	320	40	260	265	70	355	30	520	460	100	125	126	
360	480	50	370	55	310	240	75	335	30	520	460	130	150	126	
500	640	55	490	80	420	250	90	360	35	510	400	130	150	203	

LUS1型(7ヶ坪)組み合わせL U型集水桝: ふた付き材料表

記号	材料表 (10箇所当たり)					摘要
	コンクリート(m ³)	基礎材(m ²)	型枠(m ²)	目地モルタル(m ³)	敷モルタル(m ³)	
LUS 1 - B240-H585-L600	0.204	2.040	1.200	0.001	0.020	
LUS 1 - B300-H655-L600	0.246	2.460	1.200	0.001	0.025	
LUS 1 - B360-H670-L600	0.288	2.880	1.200	0.001	0.029	
LUS 1 - B500-H800-L600	0.384	3.840	1.200	0.001	0.038	

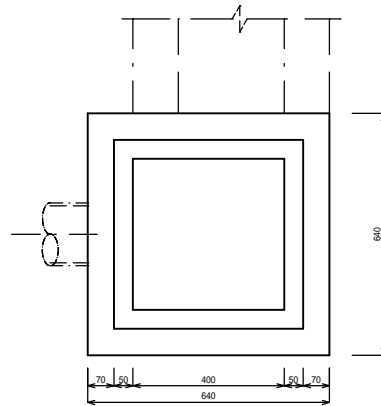
注意事項

- 基礎材は再生クワックラ(RC-40)を標準とする。
なお路盤上に施工する場合は基礎材を省略してもよい。
- 材料は10箇所当たりで計上してある。
- 目地モルタルの数量は目地間隔を5mmとして計上した。
- JIS規格品以外の製品を使用する場合は、発注者の承認を得なければならない。
- モルタルの標準配合は(1:3)とする。

集水桝 構造図

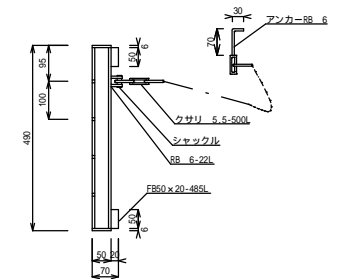
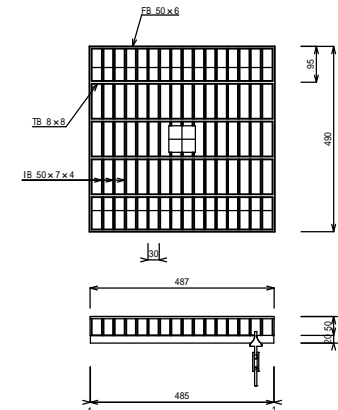
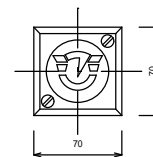
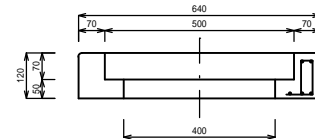
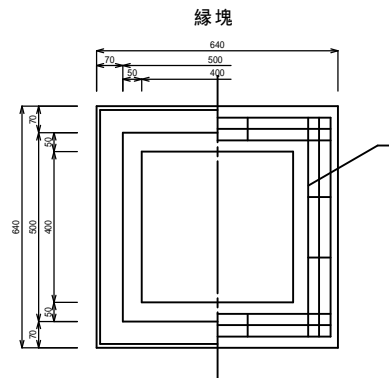
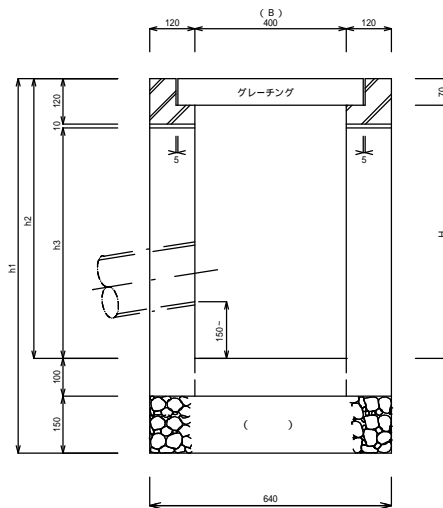
S M 1 型 (U 型 の 場 合)

設計強度 ます $ck = 180 / m m^2$



S M 1 型 (集水ます : ふた付き) 寸法および材料表

記 号	寸 法 表 (単 位 mm)					材 料 表 (1 箇 所 あ た り)			
	H	h1	h2	h3	B	コンクリート (m ³)	基礎材 (m ²)	型枠 (m ²)	敷モルタル (m ²)
S M 1 - B 4 0 0 - H 6 7 0	670	990	740	610	400	0.193	0.409	2.953	0.002
S M 1 - B 4 0 0 - H 3 2 0	320	640	390	260	400	0.105	0.409	1.497	0.002



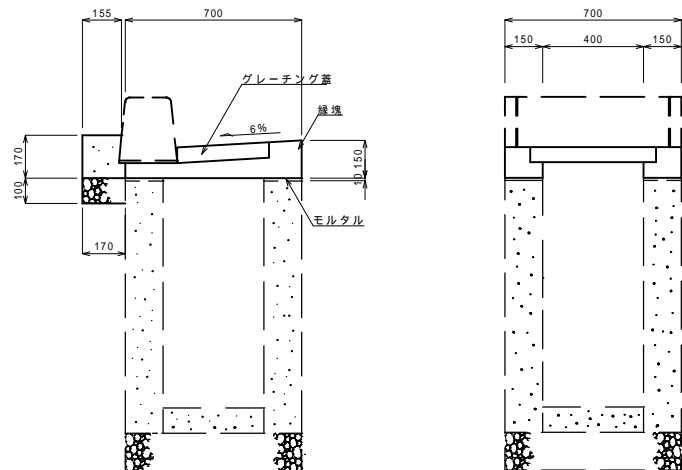
集水桝用グレーチング
T-14
表面処理 亜鉛メッキ
クサリ・アンカー・シャックル付

注意事項

1. S M 1 型に用いるますふたは、クサリ付鋼製格子ふたを標準とする。
2. 基礎材の使用材料を図中 () 内に明記すること。
3. 底板上面から流出パイプの入口までの高さ h2 は、現状の状況に合わせて決定するものとするが、少なくとも 1.5 cm は確保すること。
4. コンクリート量は、流入・流出のための側こう類・パイプ類による減少量を考慮していない。したがって、必要に応じてコンクリート量を補正すること。
5. 型枠の面積は、側壁を先行し底板を後施工する施工方法を考慮して計上してある。
6. コンクリート打設は、豆板等が生じないよう十分な締め固めを行うこと。
7. ます本体は、無筋コンクリートとしてあるが必要に応じて補強鉄筋を考慮すること。
8. 材料は 1 箇所当たりで計上してある。

組合せ排水柵(縁塊)構造図

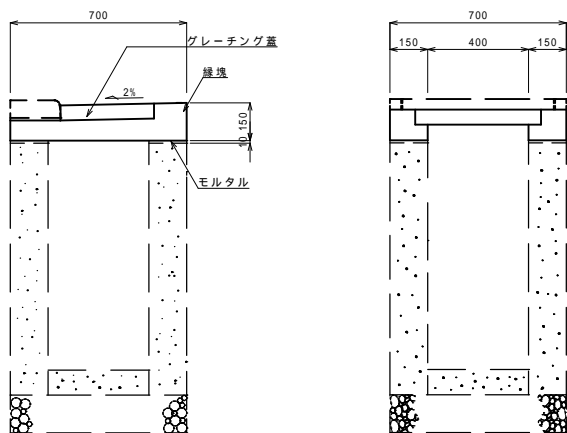
縁塊 (6%)



組合せ排水柵縁塊材料表

名称	規格	単位	数量(10箇所当り)	
			6%	2%
縁塊	グレーチング	個	10.000	10.000
敷きモルタル	1:3	m ³	0.330	0.330
コンクリート	18N/mm ²	m ³	0.193	-
型枠		m ²	1.190	-
基礎砕石		m ²	1.190	-
記号			KHM1-B400	KHM2-B400

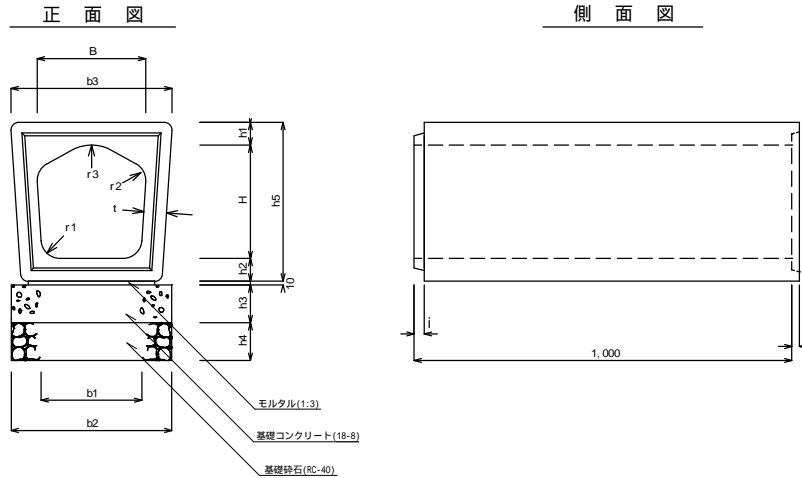
縁塊 (2%)



注意事項
1. 材料は10箇所当たりで計上してある。

暗渠 - プレキャスト函きよ (BX1型) 構造図

設計基準強度 基礎コンクリート ck=18N/mm²



注意事項

1. 横断函きよブロックは工場製品とし、ひびわれ荷重は次のとおりとする。

呼び名	ひびわれ荷重
180用	8,000kg以上
240～600用	8,000kg以上

2. 基礎材の使用材料は実施に当たり明記のこと。

3. 敷モルタルとしては1cmを見込むこと。

4. 材料は10m当たりで計上。

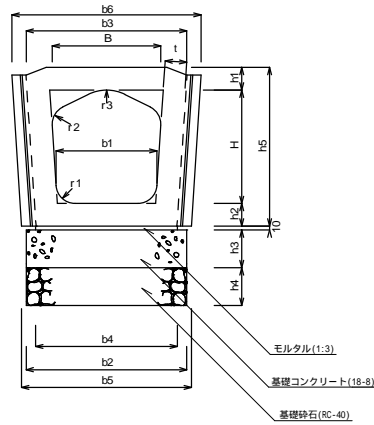
B X1型 (プレキャスト函きよ) 寸法および材料表

記号	寸法表 (単位mm)																材 料 表 (10.0m当り)					1.0m当り 参考重量 (kg)	
	B	H	b1	b2	b3	b4	h1	h2	h3	h4	h5	t	i	j	r1	r2	r3	コンクリート 函きよ (本)	基 礎 コンクリート (m ³)	基礎材 (m ²)	型 種 (m ²)		敷及び目地 モルタル (m ³)
BX1-B180	180	180	170	265	263	250	45	40	100	100	265	40	17	10	50	50	70	10	0.265	2.650	2.0	0.03	97
BX1-B240	240	240	220	345	345	320	60	50	100	100	350	45	17	10	50	50	90	10	0.345	3.450	2.0	0.06	155
BX1-B300	300	300	250	425	425	375	60	60	100	100	420	60	27	18	50	50	110	10	0.425	4.250	2.0	0.07	220
BX1-B360	360	360	310	495	495	430	75	65	100	150	500	60	27	20	50	50	110	10	0.495	4.950	2.0	0.09	297
BX1-B450	450	450	400	595	595	530	85	90	100	150	625	75	27	20	70	50	130	10	0.595	5.950	2.0	0.11	450
BX1-B600	600	600	540	775	772	690	130	135	100	150	865	80	27	20	70	50	150	10	0.775	7.750	2.0	0.15	775

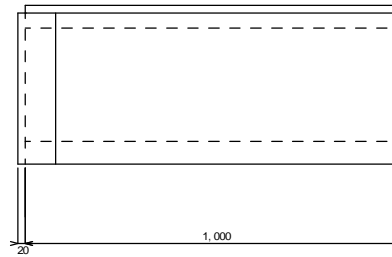
暗渠 - プレキャスト函きよ (BX2型) 構造図

設計基準強度 基礎コンクリート ck=18N/mm²

正面図



側面図



注意事項

1. 横断函きよブロックは工場製品とし、ひびわれ荷重は次のとおりとする。

呼び名	ひびわれ荷重
180用	8,000kg以上
240～600用	8,000kg以上

2. 基礎材の使用材料は実施に当たり明記のこと。

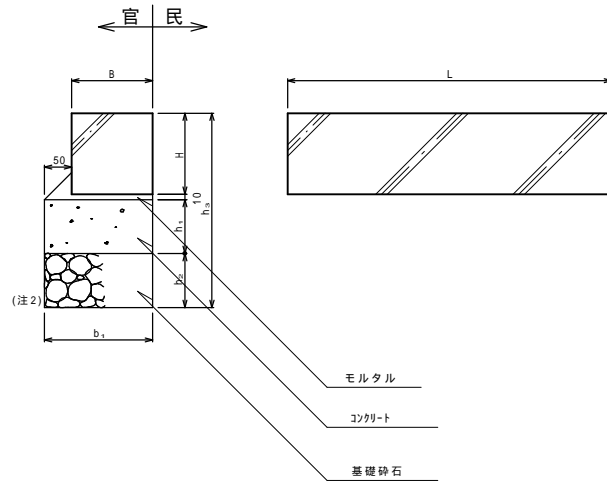
3. 敷モルタルとしては1cmを見込むこと。

4. 材料は10m当たりで計上。

B X 2型 (プレキャスト函きよ) 寸法および材料表

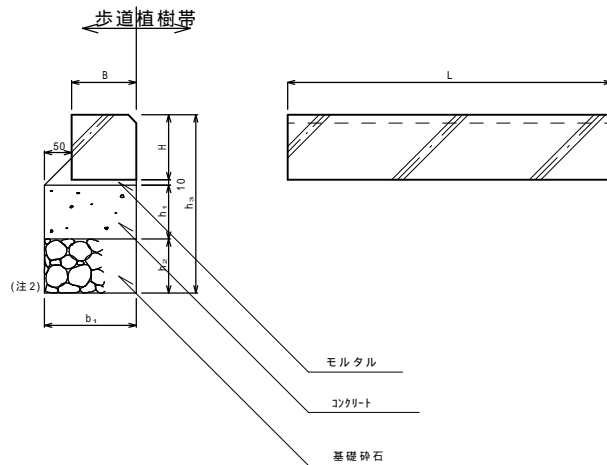
記号	寸法表 (単位mm)																	材料表 (10.0m当り)					1.0m当り 参考重量 (kg)
	B	H	b1	b2	b3	b4	b5	b6	h1	h2	h3	h4	h5	t	r1	r2	r3	コンクリート 函きよ (本)	基礎 コンクリート (m ³)	基礎材 (m ²)	型種 (m ²)	敷及び目地 モルタル (m ³)	
BX2-B180	180	180	170	265	263	250	325	343	45	40	100	100	265	40	50	50	70	10	0.265	2.650	2.0	0.03	97
BX2-B240	240	240	220	345	345	320	395	420	60	50	100	100	350	50	50	50	90	10	0.345	3.450	2.0	0.06	160
BX2-B300	300	300	260	425	425	375	450	500	60	60	100	100	420	60	50	50	110	10	0.425	4.250	2.0	0.07	197
BX2-B360	360	360	310	495	495	430	517	585	75	65	100	150	500	70	50	50	110	10	0.495	4.950	2.0	0.09	298
BX2-B450	450	450	400	595	595	530	620	685	85	90	100	150	625	70	70	50	130	10	0.595	5.950	2.0	0.11	461
BX2-B600	600	600	540	775	772	690	775	865	130	135	100	150	865	80	70	50	150	10	0.775	7.750	2.0	0.15	780

地先境界、植樹ブロック（プレキャストブロック） 構造図



K 1 型（地先境界工）寸法および材料表

記 号	寸 法 表 (単位mm)							材 料 表 (10.0m当り)					
	B	H	L	h ₁	h ₂	h _a	b ₁	基礎材 (m ²)	型枠 (m ²)	コンクリート (m ³)	植樹ブロック (個)	目地 モルタル (m ³)	敷 モルタル (m ³)
K1-B150-H150	150	150	600	100	100	360	200	2.0	2.0	0.20	16.5	0.002	0.015
K1-B120-H120	120	120	600	100	100	330	170	1.7	2.0	0.17	16.5	0.001	0.012



K 2 型（植樹ブロック工）寸法および材料表

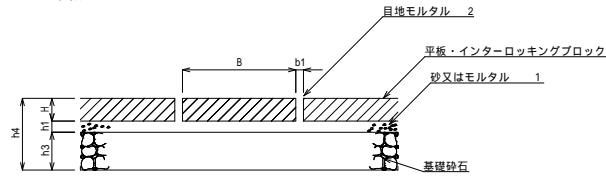
記 号	寸 法 表 (単位mm)							材 料 表 (10.0m当り)					
	B	H	L	h ₁	h ₂	h _a	b ₁	基礎材 (m ²)	型枠 (m ²)	コンクリート (m ³)	植樹ブロック (個)	目地 モルタル (m ³)	敷 モルタル (m ³)
K2-B120-H120	120	120	600	100	100	330	170	1.7	2.0	0.17	16.5	0.001	0.012

注意事項

1. 地先境界ブロックはJIS A-5371の規格品を使用すること。
2. JIS規格品以外を使用する場合には、発注者の承認を得なければならない。
3. 基礎材は再生コンクリート(RC-40)を標準とする。なお、路盤上に施工する場合は基礎材を省略しても良い。
4. 場所打コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ とする。
5. モルタルの標準配合は(1:3)とする。
6. 材料は10m当りで計上してある。
7. 無筋コンクリート単位体積重量は $2,350\text{kg/m}^3$ とする。

平板ブロック、視覚障がい者誘導用ブロック 構造図

平板・インターロッキングブロック



平板・インターロッキングブロック 材料表

記号	呼び名	形状寸法						
		B	H	b1	h1	h2	h3	h4
BL1-K1-H60	T60	200	60	5	30	-	100	190
BL1-K2-H80	T80	200	80	5	30	-	150	260
BL1-K3-H80		200	80	5	30	100	150	360
BL2-K1-H60	T60	300	60	5	30	-	100	190
BL2-K2-H80	T80	300	80	5	30	-	150	260
BL3-K3-H80		300	80	5	30	100	150	360

<適用条件>

使用場所は以下のとおりとする。

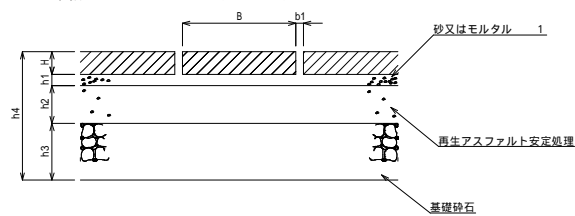
標準部

切下げ部(普通車)

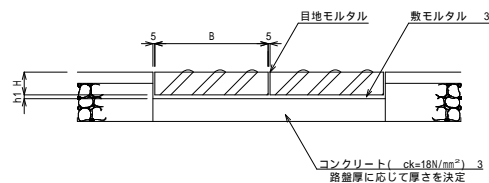
切下げ部(大型車)

- 1: ブロック下は原則として砂を用いるが、切下げ部(大型車)についてはモルタルとする。また地域特性により砂をモルタルに変えることができる。
- 2: インターロッキングブロックの場合は、砂目地(30mm)を標準とする。

平板・インターロッキングブロック



視覚障がい者誘導用ブロック(アスファルト舗装)



視覚障がい者誘導用ブロック 材料表

記号	呼び名	形状寸法		
		B	H	h1
SB1-K1-H60	T60	300	60	10
SB1-K1-H80	T80	300	80	10

<適用条件>

使用場所は以下のとおりとする。

標準部(敷モルタル)

切下げ部(敷モルタル)

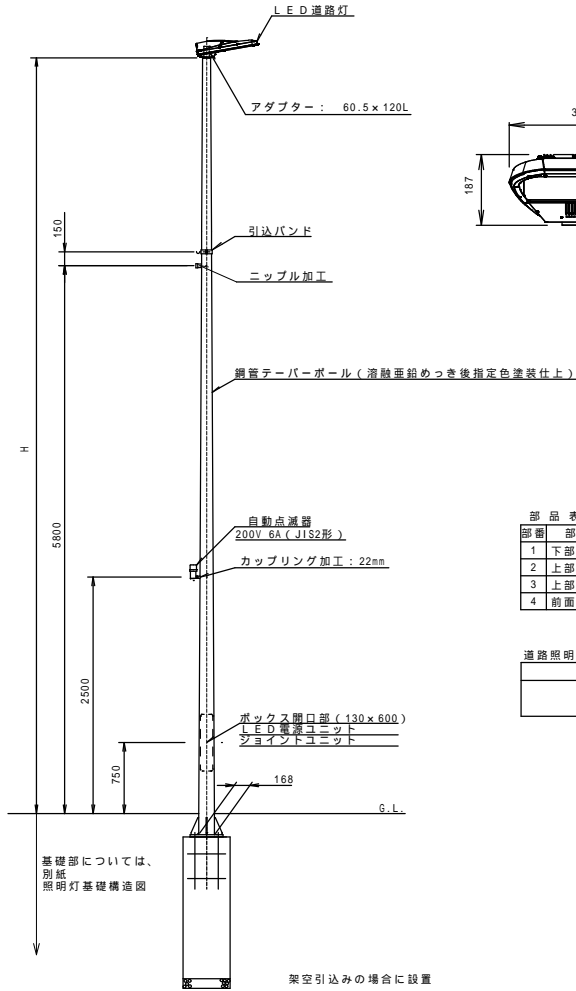
標準部(敷砂)

切下げ部(敷砂)

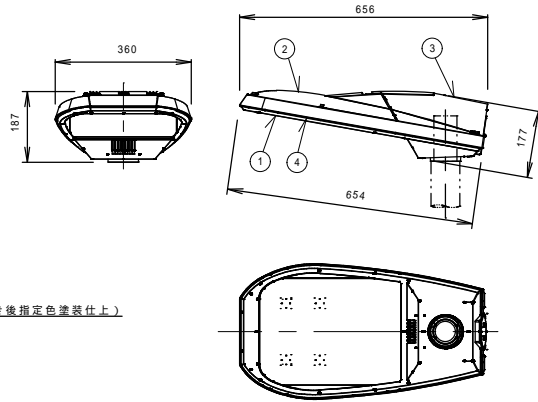
- 3: 平板又はインターロッキングブロックに設置する場合は、平板又はインターロッキングブロックの舗装構成と同様とする。

照明灯構造図(参考図)

照明柱姿図(LED)



照明器具詳細図(LED)



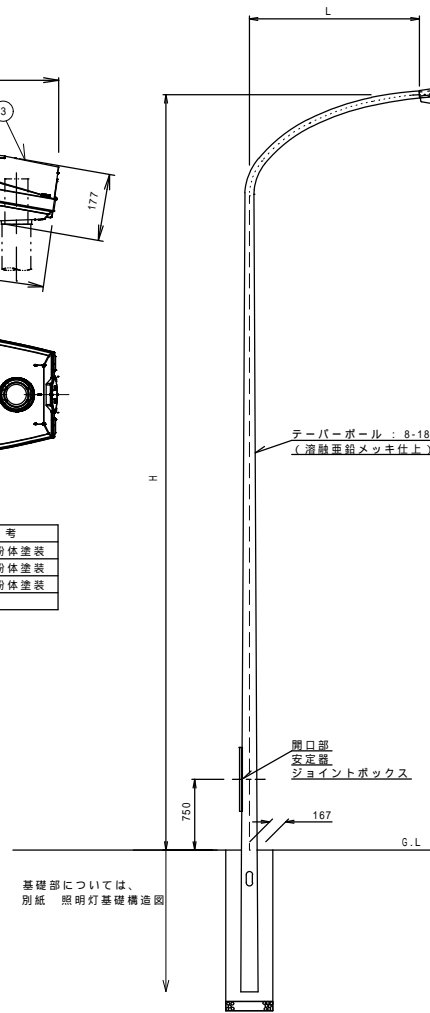
部品表

部番	部品名	材質・材厚	数	備考
1	下部本体	アルミダイカスト	1	ポリエステル粉体塗装
2	上部本体	アルミダイカスト	1	ポリエステル粉体塗装
3	上部カバー	アルミダイカスト	1	ポリエステル粉体塗装
4	前面ガラス	強化ガラス 14	1	透明

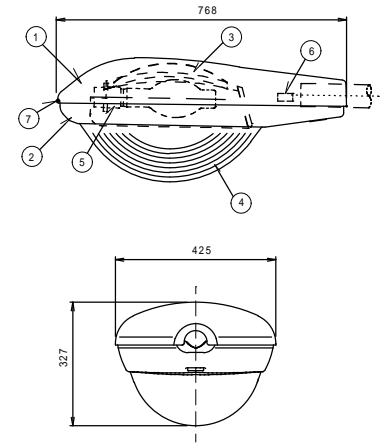
道路照明灯寸法

	ポール長さ (mm)
H	8000
	10000

照明柱姿図



照明器具詳細図



部品表

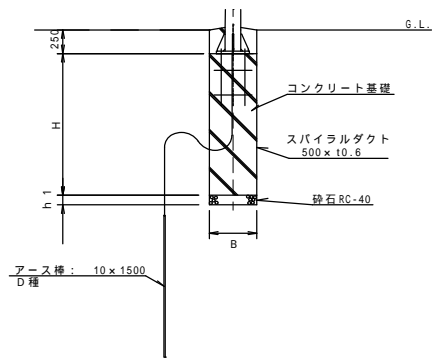
部番	部品名	材質・材厚	数	備考
1	本体	アルミダイカスト	1	メタリックシルバー
2	棒	アルミダイカスト	1	メタリックシルバー
3	反射板	アルミ	1	
4	グローブ	視鏡ガラス	1	
5	ソケット	磁器	1	E39
6	端子台	磁器	1	3P
7	螺絲	ステンレス t2.8	1	

道路照明灯寸法

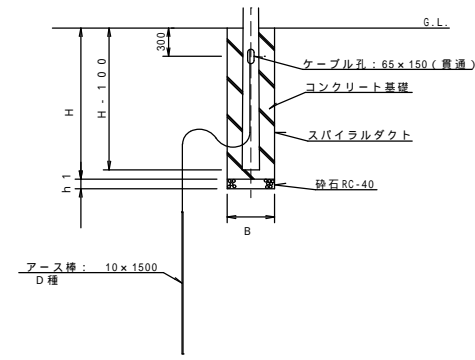
	ポール長さ (mm) H	ポール長さ (mm) L
8 - 8	8000	800
8 - 1.8	8000	1800
1.0 - 8	10000	800
1.0 - 1.8	10000	1800

照明灯基礎構造図(参考図)

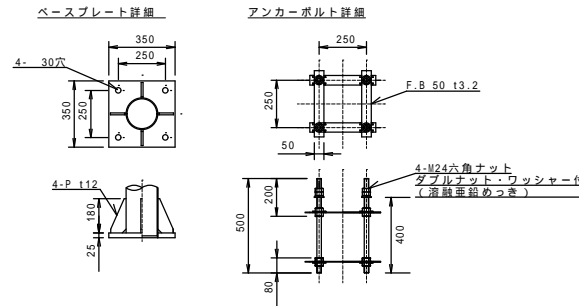
ベースプレート



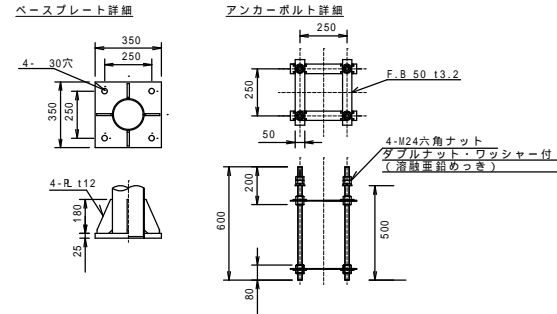
埋め込み式



(ポール 8 m)



(ポール 1.0 m)



AK1型(道路照明灯基礎)寸法および材料表

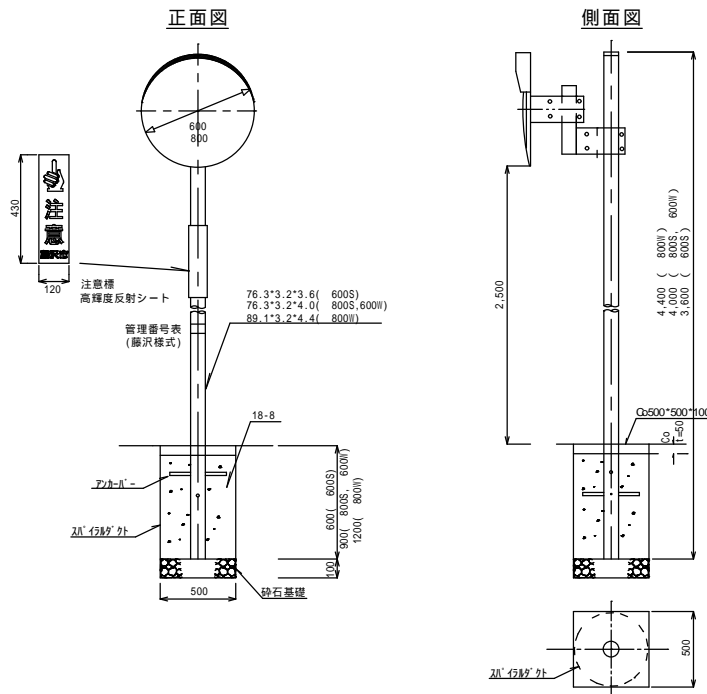
記号	寸法表 (単位mm)				材料表 (1.0箇所あたり)							
	頻度	B	H	h1	コンクリート (m3)	基礎材 (m2)	鉄筋 9mm(kg)	型枠スパイラルダクト 500mm (m)	型枠スパイラルダクト 225mm (m)	型枠スパイラルダクト 250mm (m)	型枠 (m2)	
AK1-K8-H1600 [埋め込み式]	ポール 8m	500	1,600	100	0.258	0.196	0.549	1.5	1.5	-	0.2	
AK1-K10-H2100 [埋め込み式]	ポール 10m	500	2,100	100	0.317	0.196	0.499	2.0	-	2.0	0.2	
AK1-K8-H1500 [ベースプレート]	ポール 8m	500	1,500	100	0.357	0.196	[アンカーボルト] 10組	1.5			0.5	
AK1-K10-H1700 [ベースプレート]	ポール 10m	500	1,700	100	0.396	0.196	[アンカーボルト] 10組	1.7			0.5	

参考値

注意事項

1. 道路附属物の基礎は「道路附属物の基礎について」(昭50.7.15 通企発第52号)によること。
2. 基礎形状は円形によることを原則とする。
3. 設計風速・・・60m/sec
4. LED照明については、LED道路・トンネル照明導入ガイドライン(案)(平成23年9月)によるもの。
5. 材料は1箇所あたりで計上してある。

道路反射鏡構造図



番号	構造仕様書		
	名称	材質	仕様
1	鏡面	SUS304	0.9m/m
2	バックプレート	SUS430	0.9m/m
3	フード	EVA樹脂	橙色
4	バックイン	強化ビニール	橙色
5	取り付け金具	SPCC	溶融亜鉛メッキ
6	注意票		指称430×120
7	支柱	STK-400	垂鉛メッキ・静電粉体塗装
8	管理番号表	スリットカル	200×50
特記事項	600S	76.3×3.2×3600	
	800S、600W	76.3×3.2×4000	
	800W	89.1×3.2×4400	
形式	名称	ステンレス製道路反射鏡	
	鏡面寸法	800	(600)
	曲率半径	R=3000	(R=2200)

道路反射鏡設置数量表 (600S)

工種	種別	数量	単位	摘要
道路反射鏡	ｽﾌﾟﾙ1面 600	1,000	面	
支柱・基礎設置(材工共)	76.3 H=3.6m	1,000	基	掘削・埋戻含む
注意シート		1,000	枚	
管理番号表		1,000	枚	
鏡面設置(手間のみ)		1,000	基	

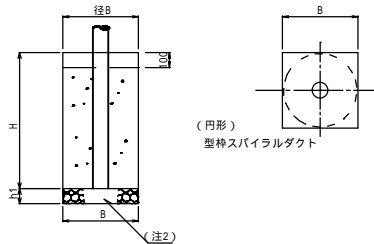
道路反射鏡設置数量表 (800S・600W)

工種	種別	数量	単位	摘要
道路反射鏡	ｽﾌﾟﾙ1面 800(600)	1,000 (2,000)	面	Wについては取付金具を使用
支柱・基礎設置(材工共)	76.3 H=4.0m	1,000	基	掘削・埋戻含む
注意シート		1,000	枚	
管理番号表		1,000	枚	
鏡面設置(手間のみ)		1,000 (2,000)	基	

道路反射鏡設置数量表 (800W)

工種	種別	数量	単位	摘要
道路反射鏡	ｽﾌﾟﾙ1面 800	2,000	面	Wについては取付金具を使用
支柱・基礎設置(材工共)	89.1 H=4.4m	1,000	基	掘削・埋戻含む
注意シート		1,000	枚	
管理番号表		1,000	枚	
鏡面設置(手間のみ)		2,000	基	

道路反射鏡基礎 (AK2型) (人力建柱)



道路反射鏡基礎 (AK2型) 寸法および材料表

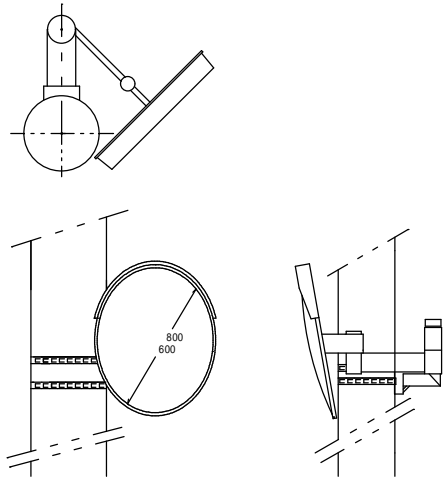
記号	寸法表 (単位mm)				材料表 (1箇所当たり)				
	規格	支柱 (径・厚・長さ)	B	H	ｺﾝｸﾘｰﾄ(m3)	基礎材(m3)	型枠ｽﾘｯﾌﾟ外 500mm 型枠(m2)	型枠(m2)	
AK2-K1面-H1200	1面積 1000	89.1×3.2×4.4	500	1,200	100	0.233	0.020	1.1(m)	0.2
AK2-K2面-H1200	2面積 800	89.1×3.2×4.4	500	1,200	100	0.233	0.020	1.1	0.2
AK2-K2面-H1500	2面積 1000	101.6×4.0×4.4	500	1,500	100	0.288	0.020	1.4	0.2

注意事項

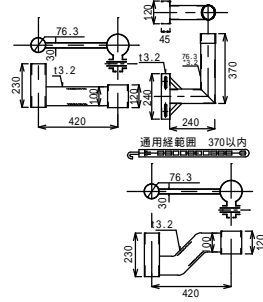
- 道路附属物の基礎は「道路技術基準通達集」(昭50.7.15建企発52号)によることを原則とし、「(県)交通安全施設等整備事業関連通達集」(昭58.6.1道管)を参考のこと。
- 基礎形状は円形によることを原則とする。機械による建柱の場合は型枠(スパイラルダクト)は二重構造とする。基礎材の使用材料は実施に当り明記のこと。
- 地表部の厚さ10cmは円形型枠の直径(二重構造にあっては外側)と同寸法の正方形とし、コンクリート面を地表に出す。
- 床掘量計算は円錐台とする。
- 設計風速・・・40m/sec
- 基礎については、「道路附属物の基礎について」(昭和50年7月15日 道企発第52号)及び道路反射鏡設置基準を参考とすること。
- 材料は1箇所当たりで計上してある。

道路反射鏡(共架式)構造図

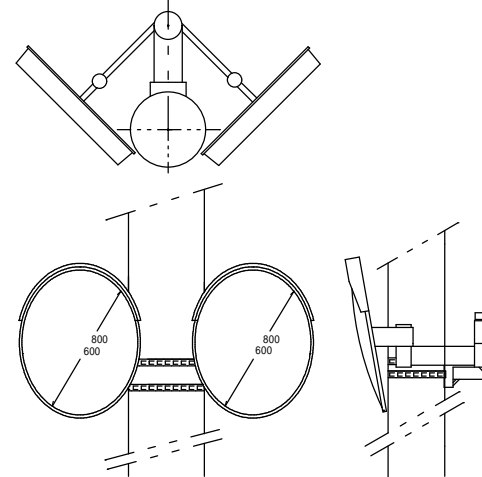
道路反射鏡設置共架式(1鏡面)



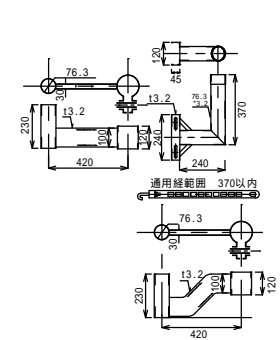
電柱取付図
1面鏡



道路反射鏡設置共架式(2鏡面)



電柱取付図
2面鏡



道路反射鏡設置共架式数量表(600S)

工種	種別	数量	単位	摘要
道路反射鏡	スプル1面 600	1.000	面	
管理番号表	200*50	1.000	枚	
共架式鏡面取付金具設置	材工共	1.000	基	

1箇所当り

道路反射鏡設置共架式数量表(800S)

工種	種別	数量	単位	摘要
道路反射鏡	スプル1面 800	1.000	面	
管理番号表	200*50	1.000	枚	
共架式鏡面板取付金具設置	材工共	1.000	基	

1箇所当り

道路反射鏡設置共架式数量表(600W)

工種	種別	数量	単位	摘要
道路反射鏡	スプル1面 600	2.000	面	
管理番号表	200*50	1.000	枚	
共架式鏡面取付金具設置	材工共	2.000	基	

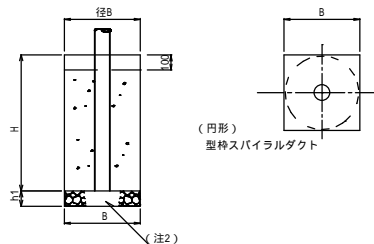
1箇所当り

道路反射鏡設置共架式数量表(800W)

工種	種別	数量	単位	摘要
道路反射鏡	スプル1面 800	2.000	面	
管理番号表	200*50	1.000	枚	
共架式鏡面取付金具設置	材工共	2.000	基	

1箇所当り

道路反射鏡基礎(AK2型)
(人力建柱)



(円形)
型枠スパイラルダクト

道路反射鏡基礎(AK2型)寸法および材料表

記号	寸法表 (単位mm)				材料表 (1箇所当たり)				
	規格	支柱 (径・厚・長さ)	B	H	コンクリート(m3)	基礎材(m3)	型枠用「イタダ」 500mm	型枠(m2)	
AK2-K1面-H1200	1面積 1000	89.1×3.2×4.4	500	1,200	100	0.233	0.020	1.1(m)	0.2
AK2-K2面-H1200	2面積 800	89.1×3.2×4.4	500	1,200	100	0.233	0.020	1.1	0.2
AK2-K2面-H1500	2面積 1000	101.6×4.0×4.4	500	1,500	100	0.288	0.020	1.4	0.2

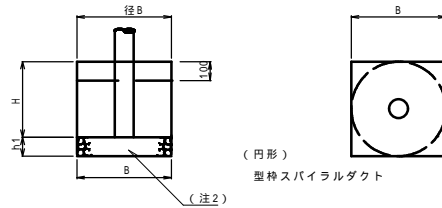
注意事項

- 道路附属物の基礎は「道路技術基準通達集」(昭50.7.15建設発52号)によることを原則とし、「(県)交通安全施設等整備事業関連通知集」(昭58.6.1道管)を参考のこと。
- 基礎形状は円形によることを原則とする。機械による建柱の場合は型枠(スパイラルダクト)は二重構造とする。基礎材の使用材料は実施に当り明記のこと。
- 地表部の厚さ10cmは円形型枠の直径(二重構造にあつては外側)と同寸法の正方形とし、コンクリート面を地表に出す。
- 床掘量計算は円錐台とする。
- 材料は1箇所当たりで計上してある。

案内標識・警戒標識・規制標識基礎 構造図

案内標識基礎 (AK3型)

国道番号(118)
都道府県番号(118-2)
まわり道(120-A)

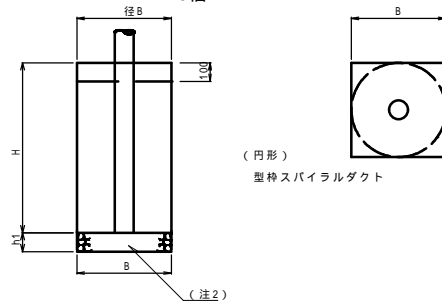


案内標識基礎 (AK3型) 寸法および材料表

記号	寸法表 (単位mm)			材料表 (1.0ヶ所当たり)				
	規格	B	H	h1	コンクリート(m ³)	基礎材(m ³)	型枠材 ¹⁾ 仮設 ²⁾ 外	型枠(m ²)
AK3-K基-H400	基本寸法	500	400	100	0.083	0.020	500mm 0.3(m)	0.2

警戒標識基礎 (AK4型)

基本寸法
1.3倍

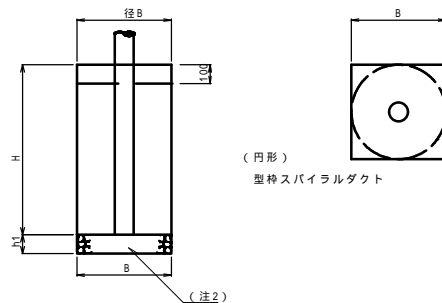


警戒標識基礎 (AK4型) 寸法および材料表

記号	寸法表 (単位mm)			材料表 (1.0ヶ所当たり)					
	規格	標準高さ	B	H	h1	コンクリート(m ³)	基礎材(m ³)	型枠材 ¹⁾ 仮設 ²⁾ 外	型枠(m ²)
AK4-K1-H600	基本寸法 (1枚)	(注6参照)	500	600	100	0.121	0.020	500mm 0.5(m)	0.2
AK4-K2-H900	"	"	500	900	100	0.179	0.020	0.8	0.2
AK4-K1,3-1-H900	"	"	500	900	100	0.179	0.020	0.8	0.2
AK4-K1,3-2-H900	"	"	500	900	100	0.179	0.020	0.8	0.2

規制標識基礎 (AK5型)

基本寸法
1.3倍



規制標識基礎 (AK5型) 寸法および材料表

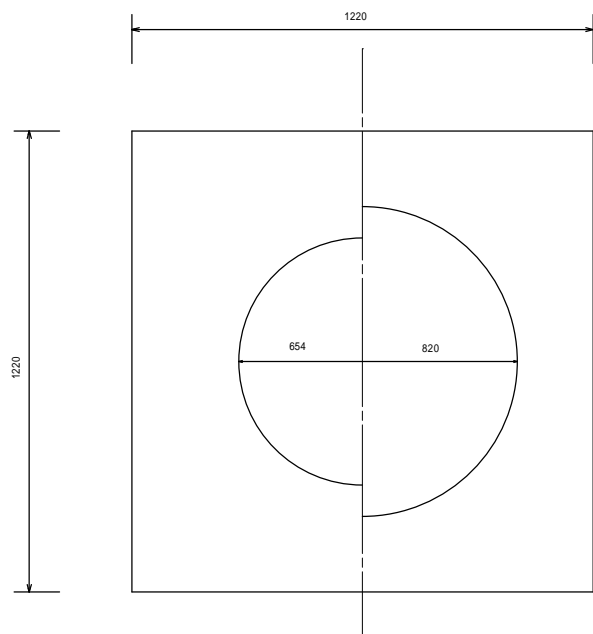
記号	寸法表 (単位mm)			材料表 (1.0ヶ所当たり)					
	規格	標準高さ	B	H	h1	コンクリート(m ³)	基礎材(m ³)	型枠材 ¹⁾ 仮設 ²⁾ 外	型枠(m ²)
AK5-K1-H600	基本寸法 (1枚)	(注7参照)	500	600	100	0.121	0.020	500mm 0.5(m)	0.2
AK5-K2-H900	"	"	500	900	100	0.179	0.020	0.8	0.2
AK5-K1,3-1-H900	1.3倍 (1枚)	"	500	900	100	0.178	0.020	0.8	0.2
AK5-K1,3-2-H900	"	"	500	1,200	100	0.235	0.020	1.1	0.2

注意事項

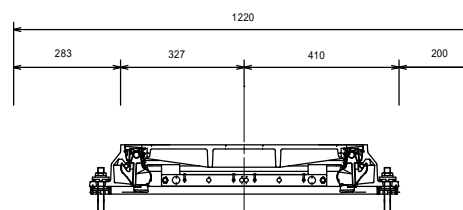
- 道路附属物の基礎は、「道路附属物の基礎について」(昭50.7.15 道企発第52号)によること。
- 基礎形状は円形によることを原則とする。但し、地表面の厚さは10cmは円形型枠の直径と同寸法とし、コンクリート面を地表面とする。基礎材の使用材料は実施に当たり明記のこと。
- 基礎が舗装面に埋め込まれている場合には、舗装部分の抵抗を考慮に入れ、根入れ長さを70%まで低減してよい。但し、端数は5cm単位で切上げのこと。
- 床掘り量の計算は円錐台とする。
- 支柱の径は規制標識の1.3倍のみ76.5cmとし、その他は60.5cmで計算している。
- 警戒標識の高さは路面から標準下端まで1.8mとすること。
- 規制標識の高さは路肩の利用状態により変わってくる。
(1)歩道の時は路面から標準下端まで1.8mとすること。
(2)自転車歩行者道の時は路面から標準下端まで2.5mとすること。
- 道路管理者が設置するものに限って適用する。
- 材料は1箇所あたりで計上してある。

人孔蓋調整工【TYPE1】構造図

平面図



正面図



人孔蓋調整工【TYPE1】数量表

10箇所あたり

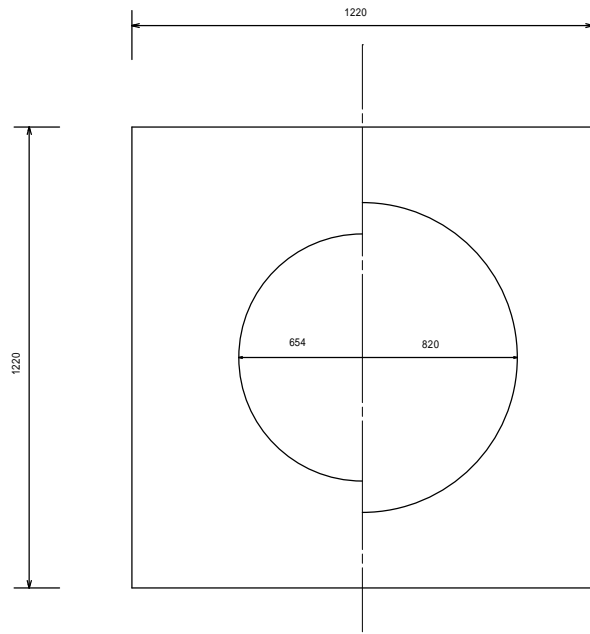
記号	名称	規格・寸法	数量	単位
MHF-TYPE1	人孔調整	調整高さ0cm(蓋撤去含む)	10.000	箇所

注意事項

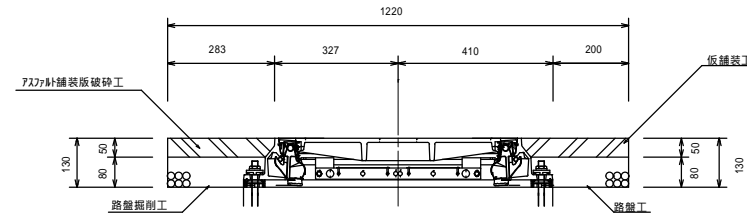
1. 数量は、10箇所当たりで計上してある。
2. 人孔調整高さは0cmを標準とする。

人孔蓋調整工【TYPE2】構造図

平面図



正面図

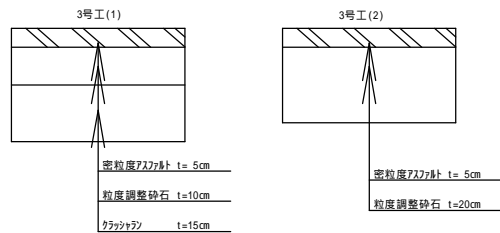


人孔蓋調整工【TYPE2】数量表

10箇所あたり

記号	名称	規格・寸法	数量	単位
	人孔調整	調整高さ0cm(蓋撤去含む)	10.000	箇所
MHF-TYPE2	舗装版切断工	As切断 15cm以下	48.800	m
	アスファルト舗装版破砕工	人力 t=5cm	11.526	m2
	殻運搬処理工	As殻・2t積級	0.576	m3
	処分費	As殻処分	0.576	m3
	路盤掘削(床堀)	人力 路盤材	0.922	m3
	残土運搬処理工	路盤材・2t積級	0.922	m3
	処分費	路盤材処分	0.922	m3
	路盤工	再生粒度調整砕石 RM-30 t=8cm	11.526	m2
	表層工	再生密粒度As(13) t=5cm 小型車割増	11.526	m2

現況舗装構成断面図

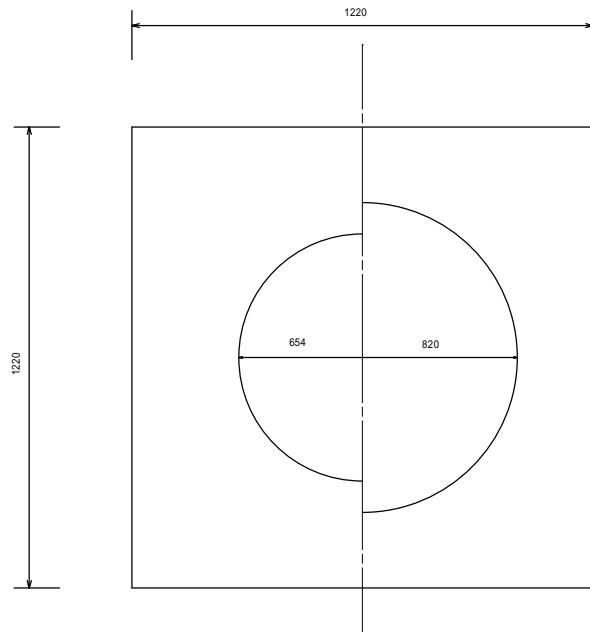


注意事項

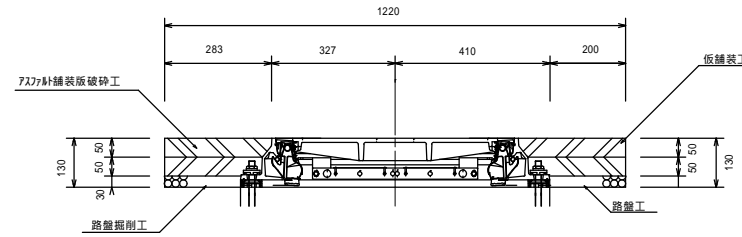
1. 数量は、10箇所当たりで計上してある。
2. 人孔調整高さは0cmを標準とする。

人孔蓋調整工【TYPE3】構造図

平面図



正面図



人孔蓋調整工【TYPE3】数量表

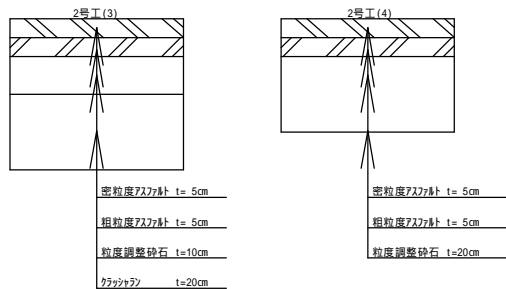
10箇所あたり

記号	名称	規格・寸法	数量	単位
MHF-TYPE3	人孔調整	調整高さ0cm(蓋撤去含む)	10.000	箇所
	舗装版切断工	As切断 15cm以下	48.800	m
	アスファルト舗装版破砕工	人力 t=10cm	11.526	m ²
	残運搬処理工	As履 2t	1.153	m ³
	処分費	As履処分	1.153	m ³
	路盤掘削(床礎)	人力 路盤材	0.288	m ³
	残土運搬処理工	路盤材 2t積級	0.288	m ³
	処分費	路盤材 処分	0.288	m ³
	路盤工	再生粒度調整砕石 RM-30 t=3cm	9.606	m ²
	基層工	再生粗粒度As(20) t=5cm 小型車割増	11.526	m ²
	表層工	再生密粒度As(13) t=5cm 小型車割増	11.526	m ²

注意事項

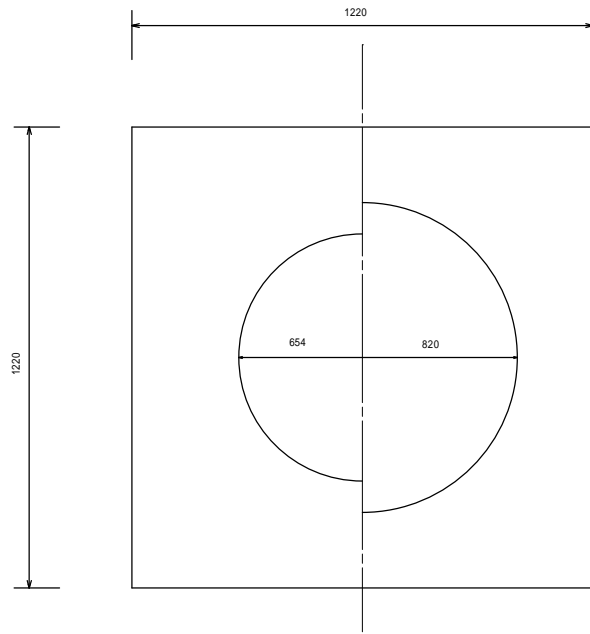
1. 数量は、10箇所当たりで計上してある。
2. 人孔調整高さは0cmを標準とする。

現況舗装構成断面図

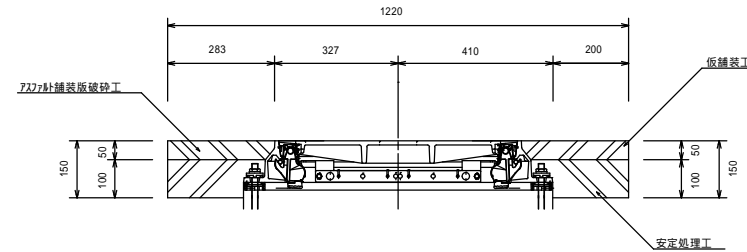


人孔蓋調整工【TYPE4】構造図

平面図



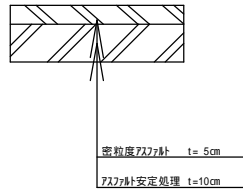
正面図



人孔蓋調整工【TYPE4】数量表

記号	名称	規格・寸法	数量	10箇所あたり	単位
MHF-TYPE4	人孔調整	調整高さ0cm(蓋撤去含む)	10.000	箇所	
	舗装版切断工	As切断 15cm以下	48.800	m	
	7/7寸舗装版破砕工	人力 t=15cm	11.526	m ²	
	殻運搬処理工	As殻 2t精級	1.729	m ³	
	処分費	As殻処分	1.729	m ³	
	路盤工	再生安定処理(30) t=10cm 小型車割増	11.526	m ²	
	表層工	再生密粒度As(13) t=5cm 小型車割増	11.526	m ²	

現況舗装構成断面図



注意事項

1. 数量は、10箇所当たりで計上してある。
2. 人孔調整高さは0cmを標準とする。

